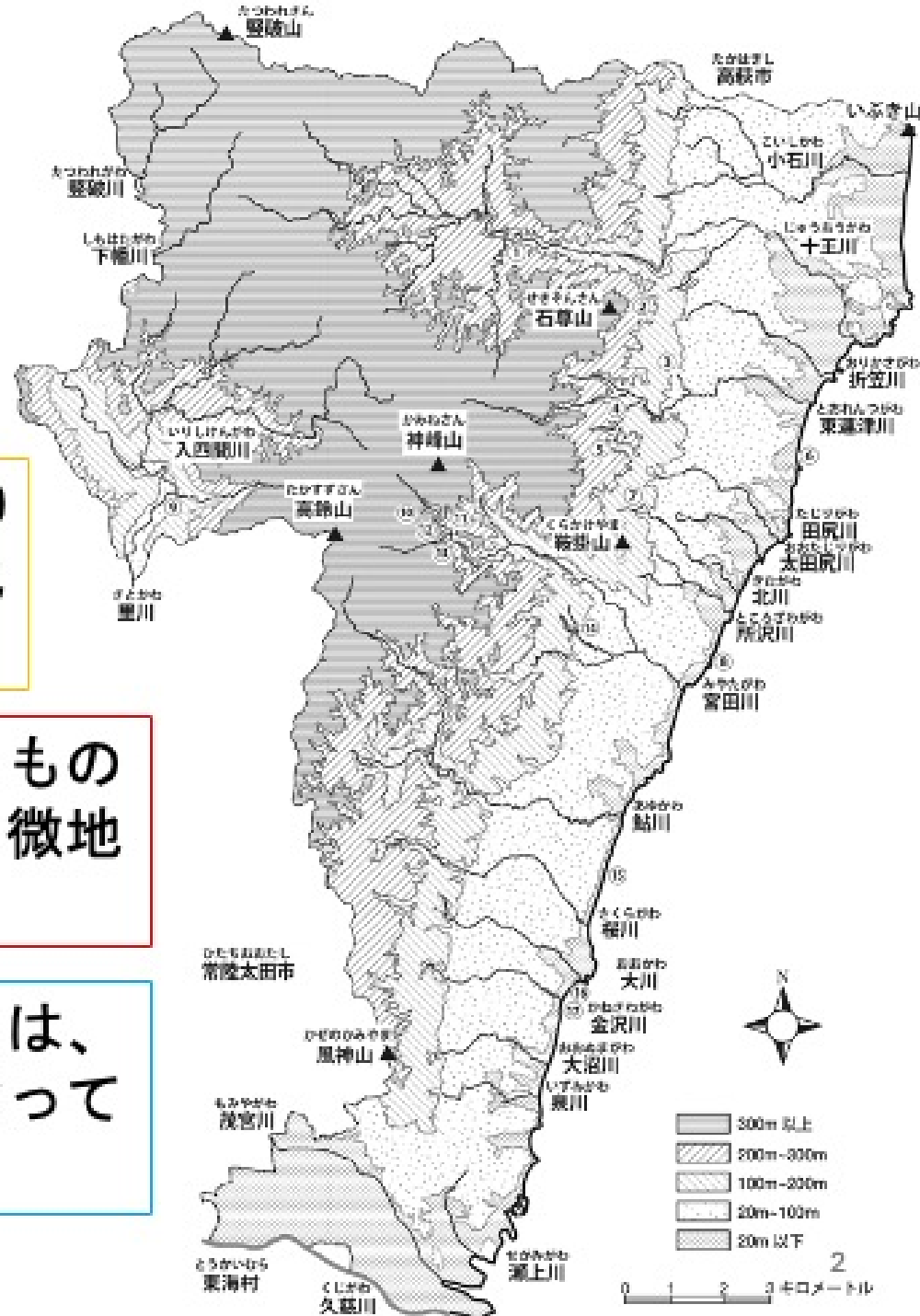


第2回ふるさと教室地学

日立市台地の傾動の証拠を探す

標高区分と 山・川

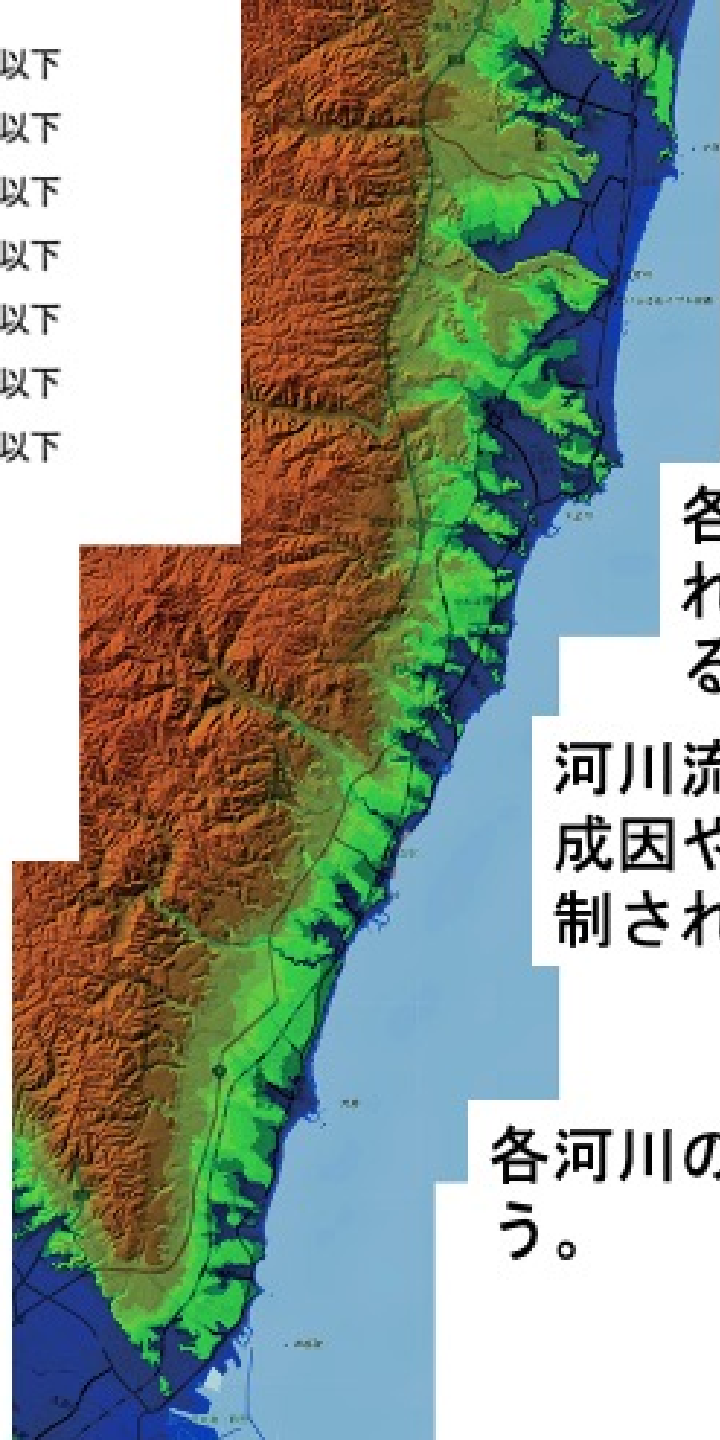
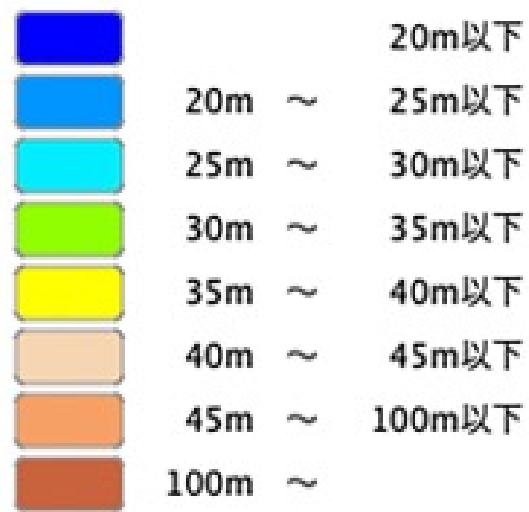


太平洋側の各河川は、標高20～100mの台地で、特徴的に北に湾曲する。なぜ？

この現象は台地の傾動によるものと推定し、各河川が流下する微地形を解析した。

鮎川を除く各河川の流出方向は、共通して北西－南東方向となっている。なぜ？

①～⑰は滝の位置



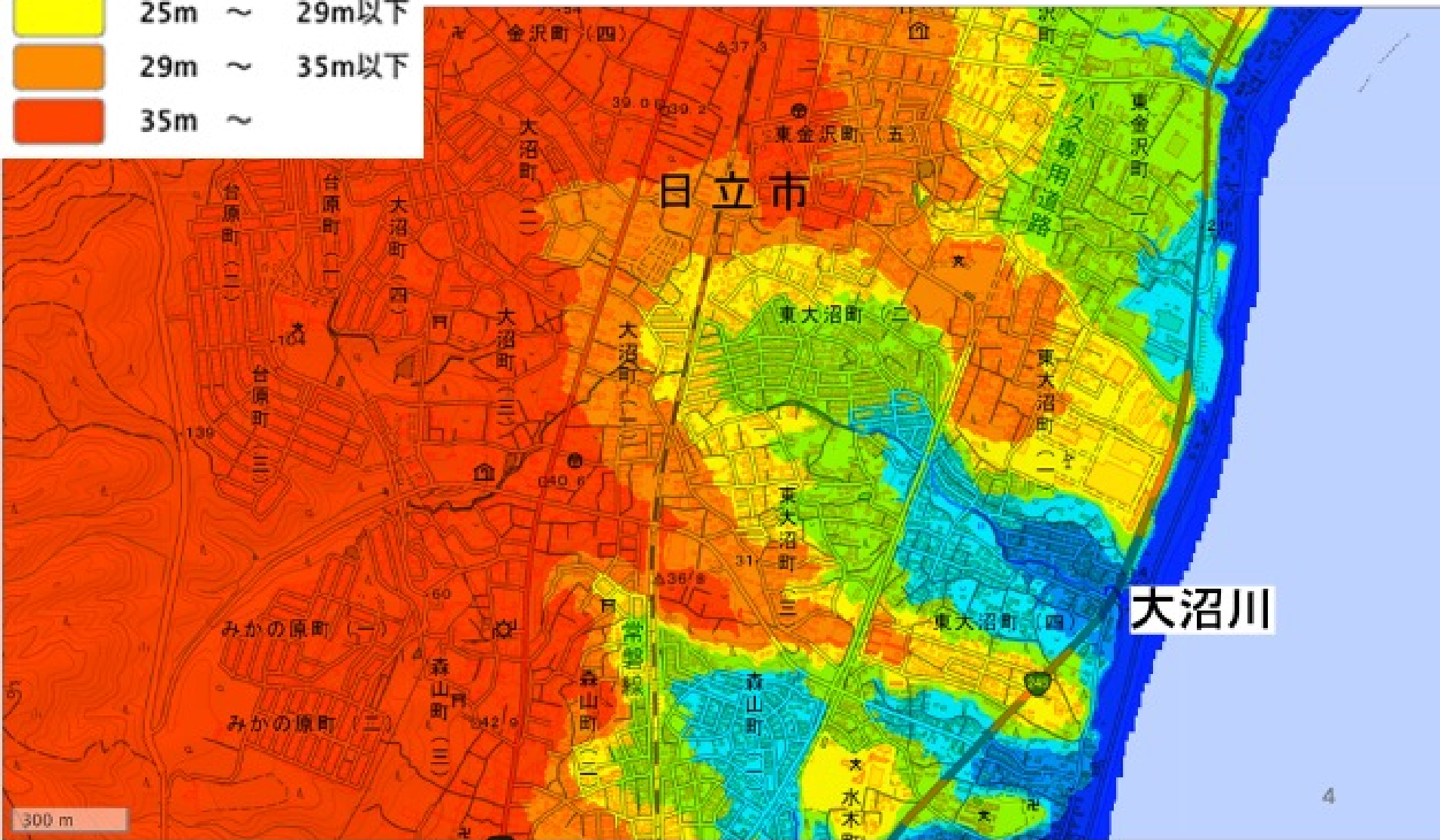
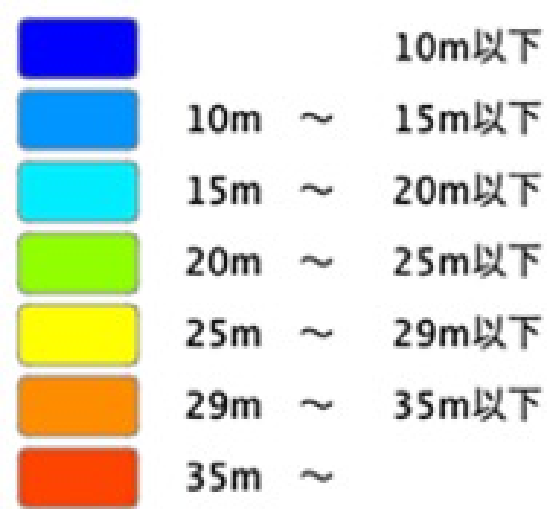
中位段丘上に北西—南東方向の岬状地形が発達している。

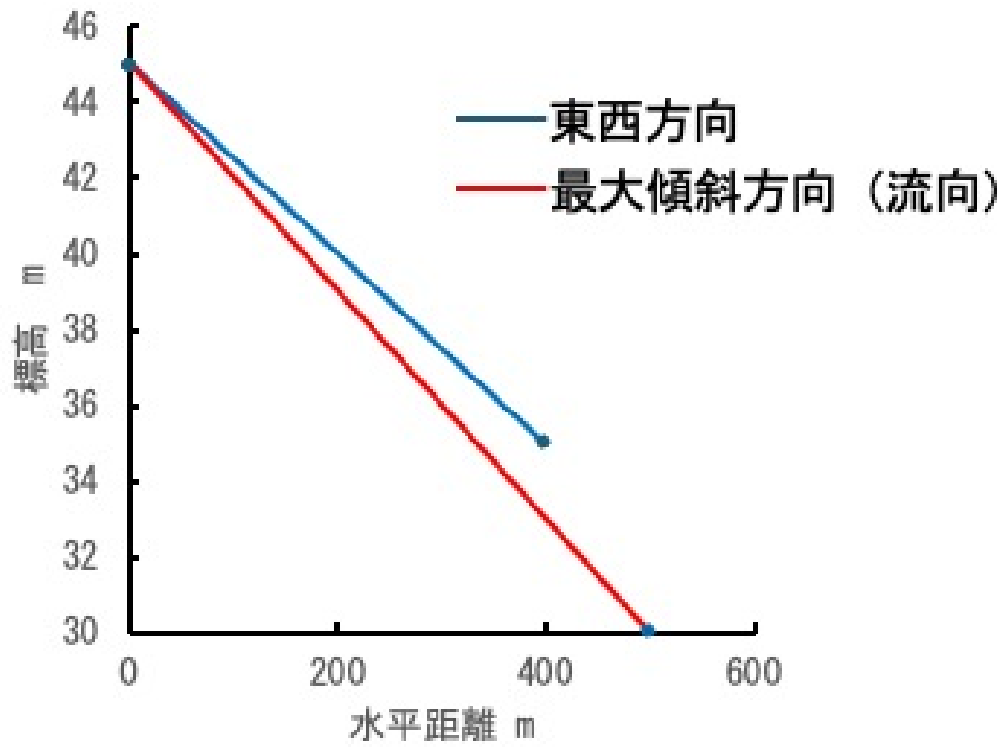
各河川は岬状地形に挟まれた凹地を流路としている。

河川流路は、この岬状地形の成因やその微地形によって規制されていると推定される。

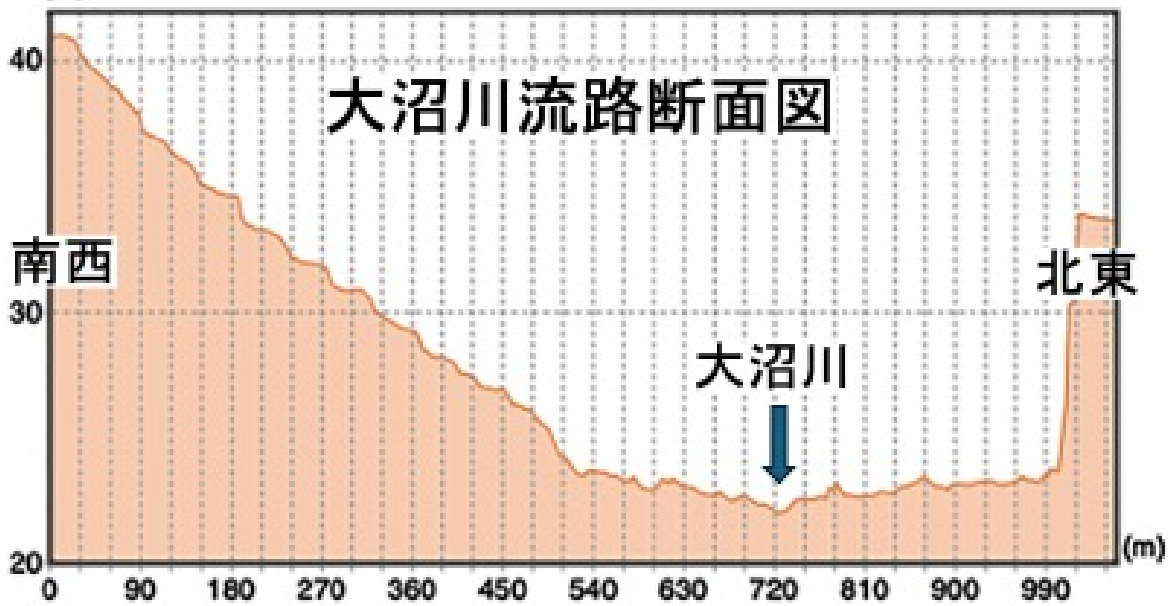
各河川の微地形を解析してみよう。

北西—南東方向の岬状の高まりが台地上に形成されている。





大沼川は北向き斜面が広く、その最大傾斜方向（北東）に流下している。北側にある高まりの南斜面を削剥し、南向き斜面は狭く、急傾斜となる。



その後、北西—南東方向の岬状高まりに遮られて、南東に流れ、北に湾曲する流路となった。

Google マップを検索する



あ

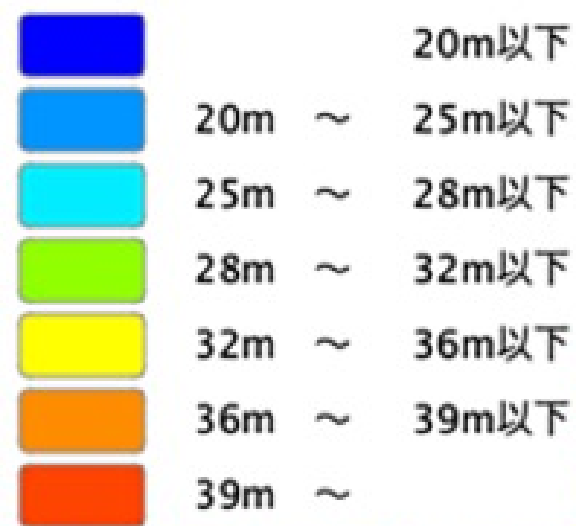


さがみ興礼
日立大沼ホール

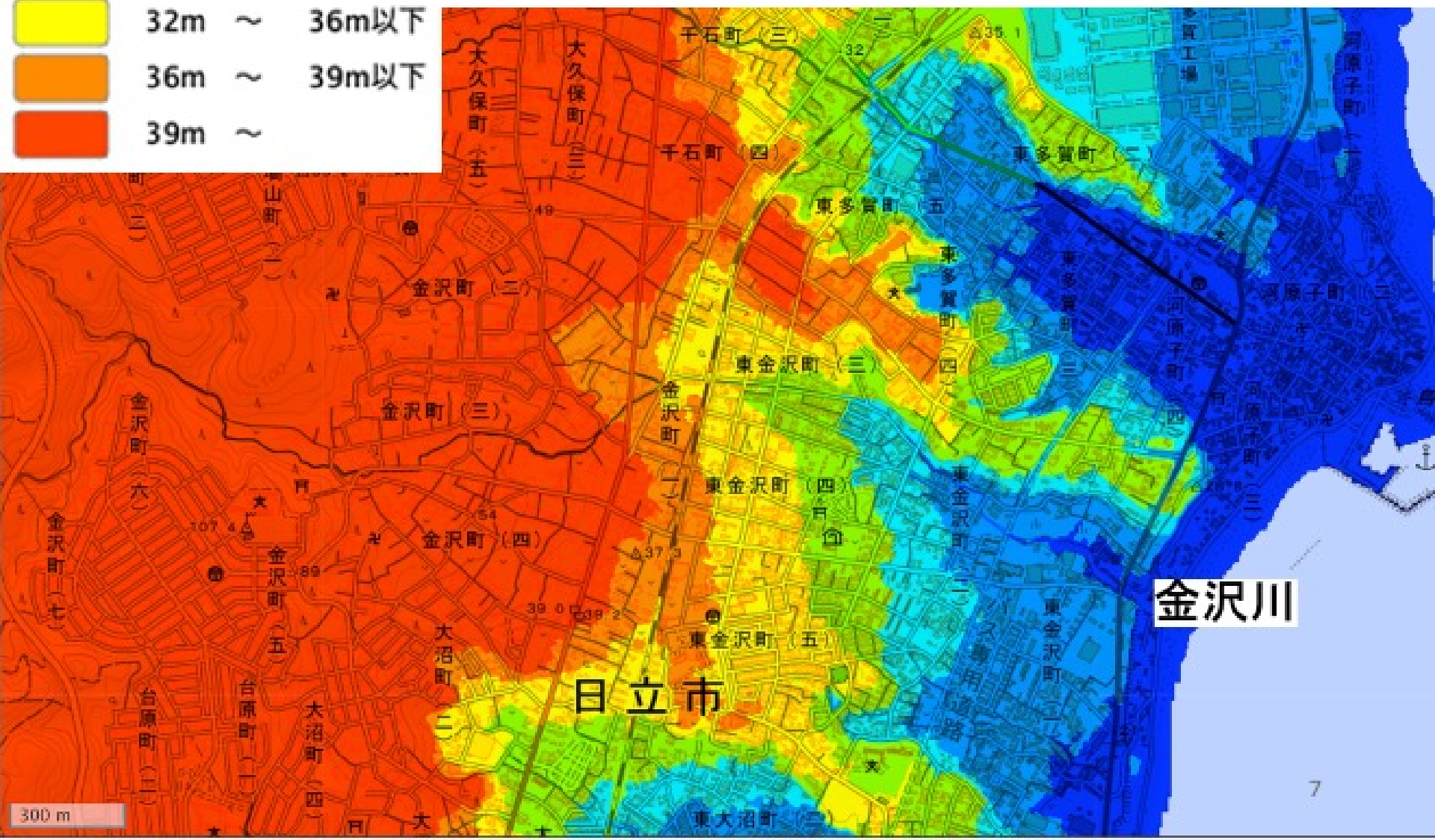
止まれ

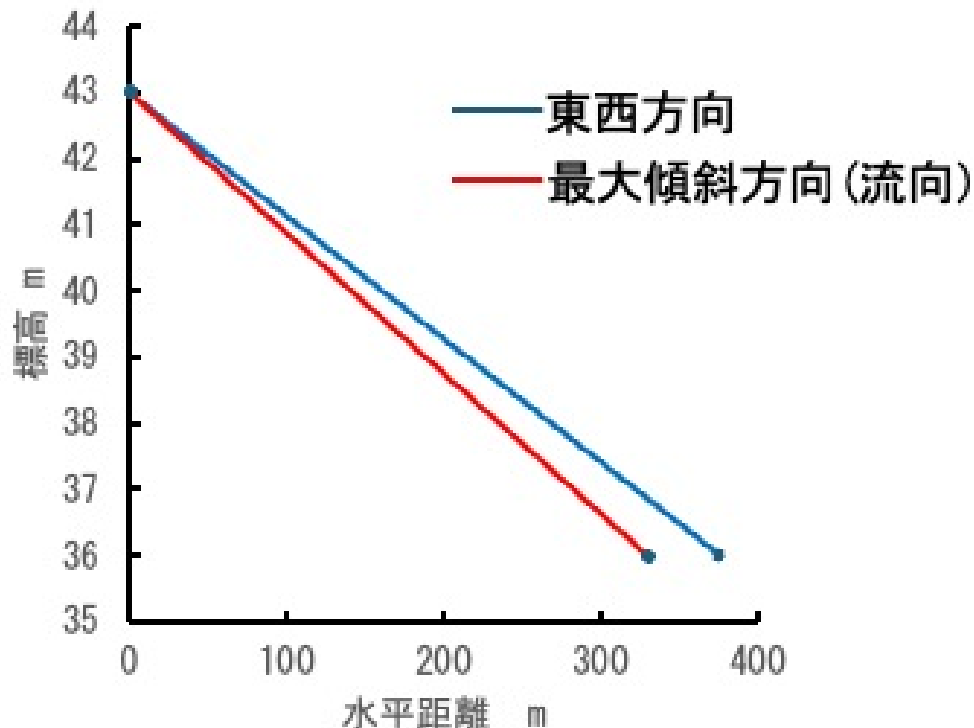
Google

6号国道は北に長い下り坂となっている。その先は岬状地形に乗り上げている。

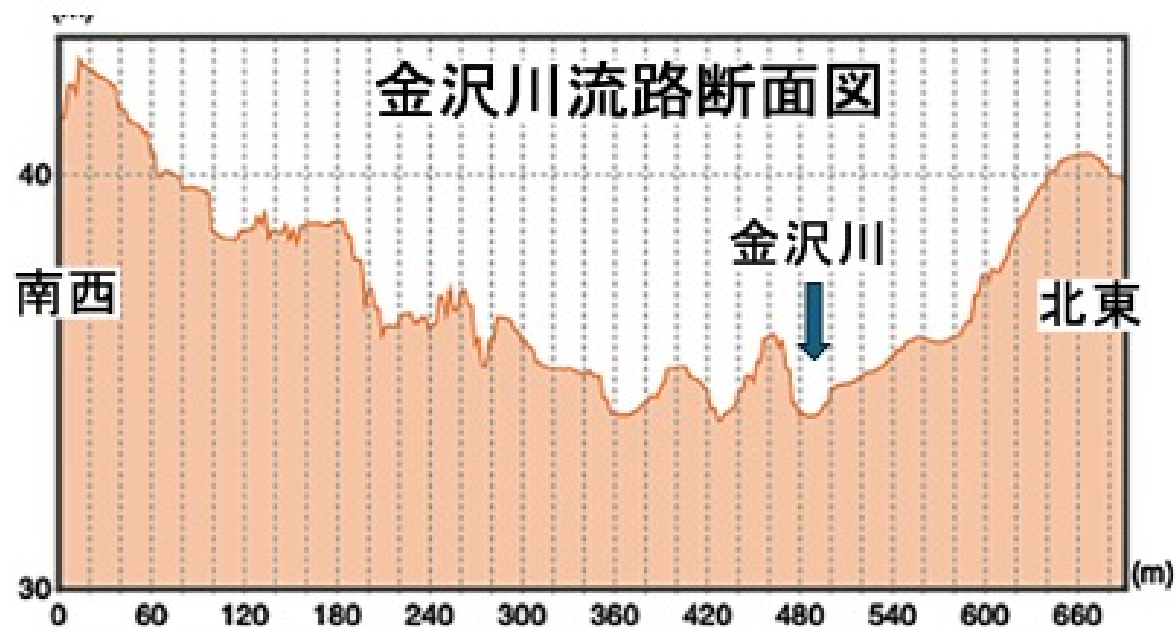


北西—南東方向の岬状の高まりが台地上に形成されている。





金沢川は北向き斜面が広く、その最大傾斜方向（北東）に流下している。北側にある高まりの南斜面を削剥し、南向き斜面は狭く、急傾斜となる。

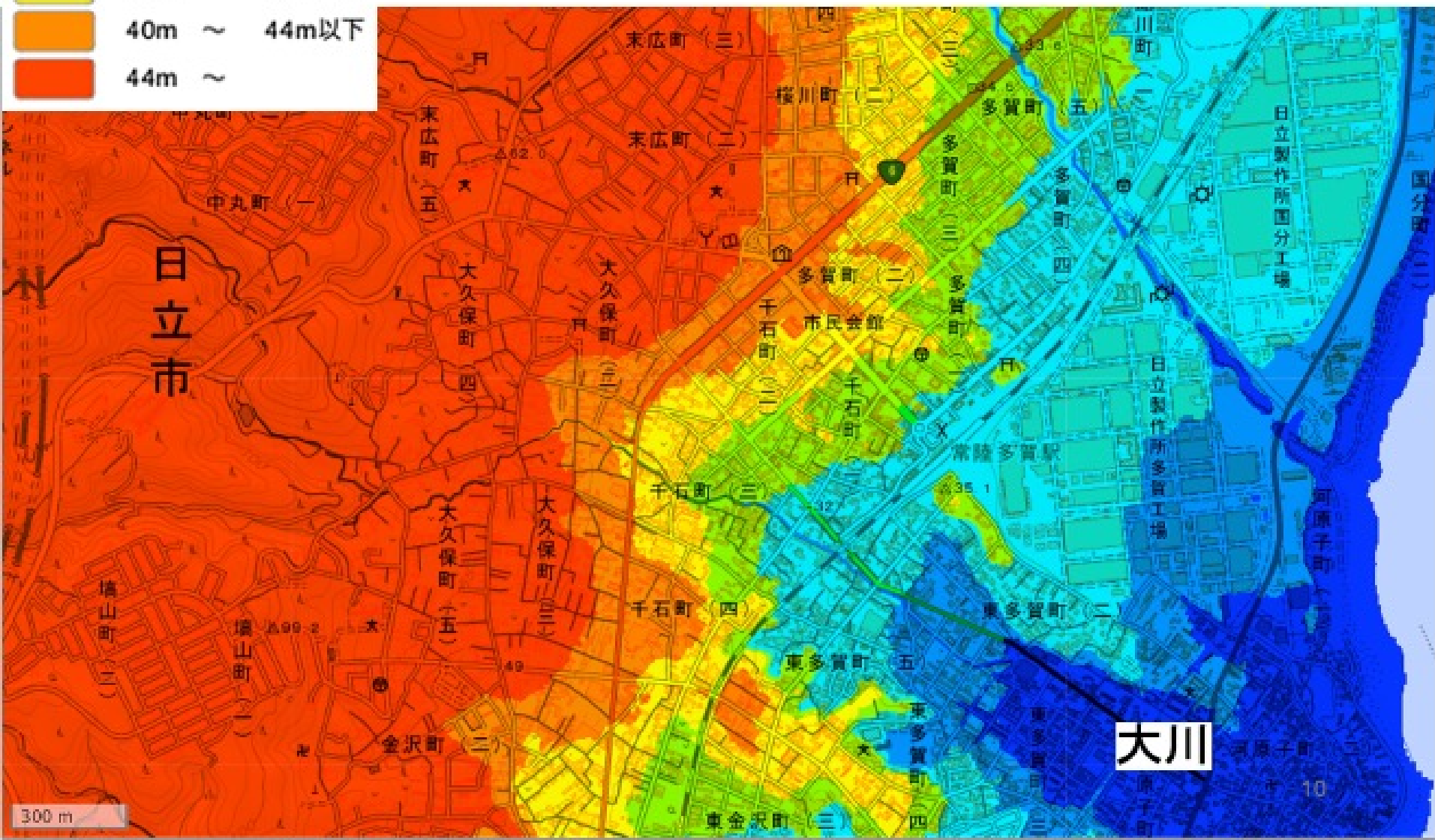


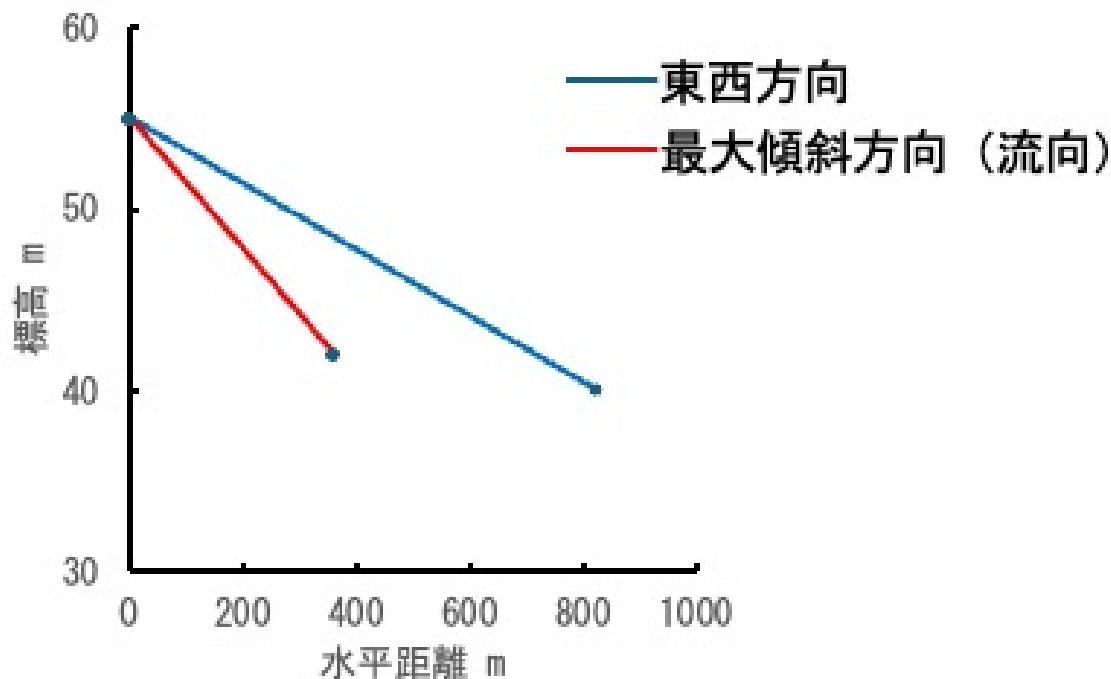
その後、北西—南東方向の岬状高まりに遮られて、南東に流れ、北に湾曲した流路となった。



旧陸前浜街道は北に向かって緩く下がっていく。金沢川を越えると次の岬状高まりになる。

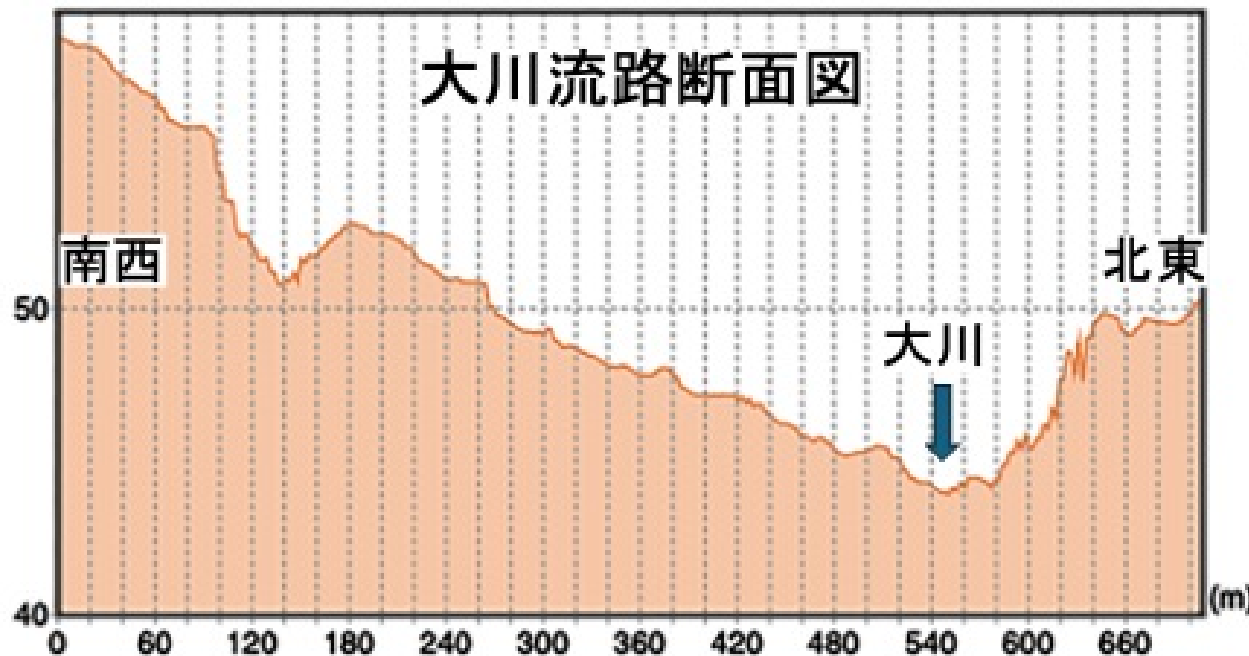
北西—南東方向の岬状の高まりが台地上に形成されている。





大川は北向き斜面が広く、その最大傾斜方向に流下している。

東西方向より北東方向が最大傾斜となつて、流路を作りやすい。



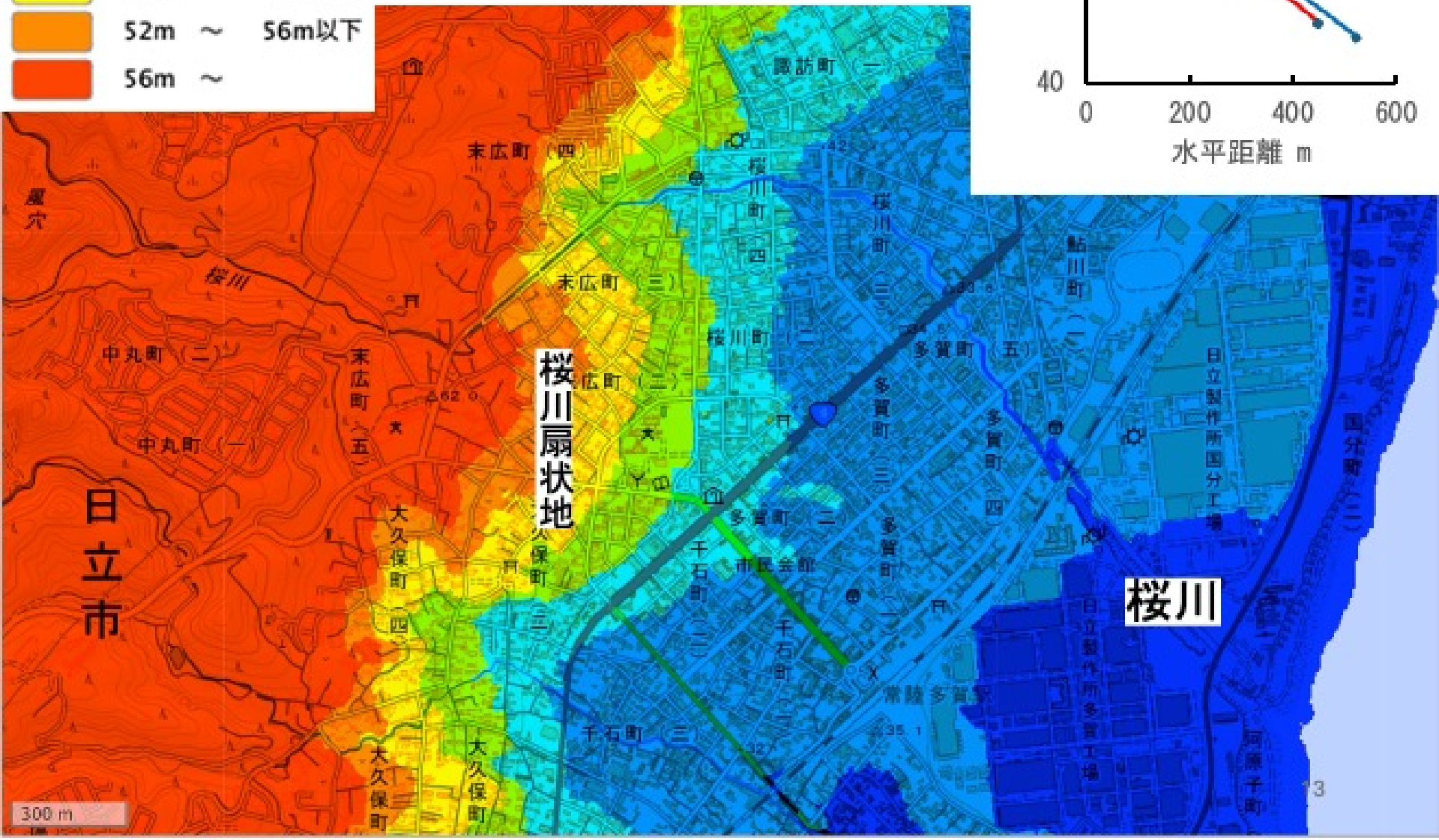
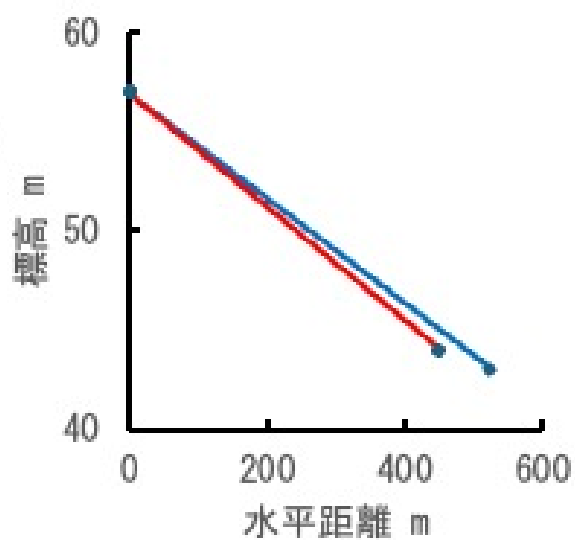
その後、北西—南東方向の岬状高まりに遮られて、南東に流れる。

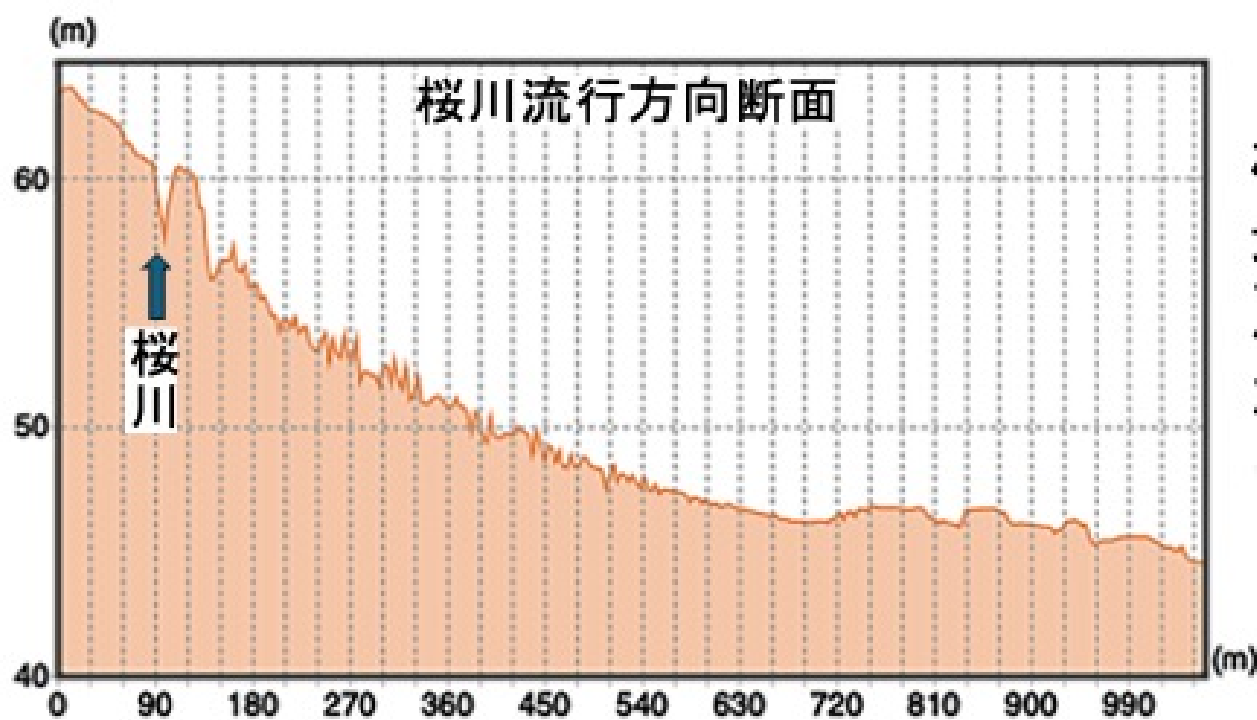


旧陸前浜街道は北へ向かって下がっていき、大川を越えると北側の岬状高まりに乗り上げる。

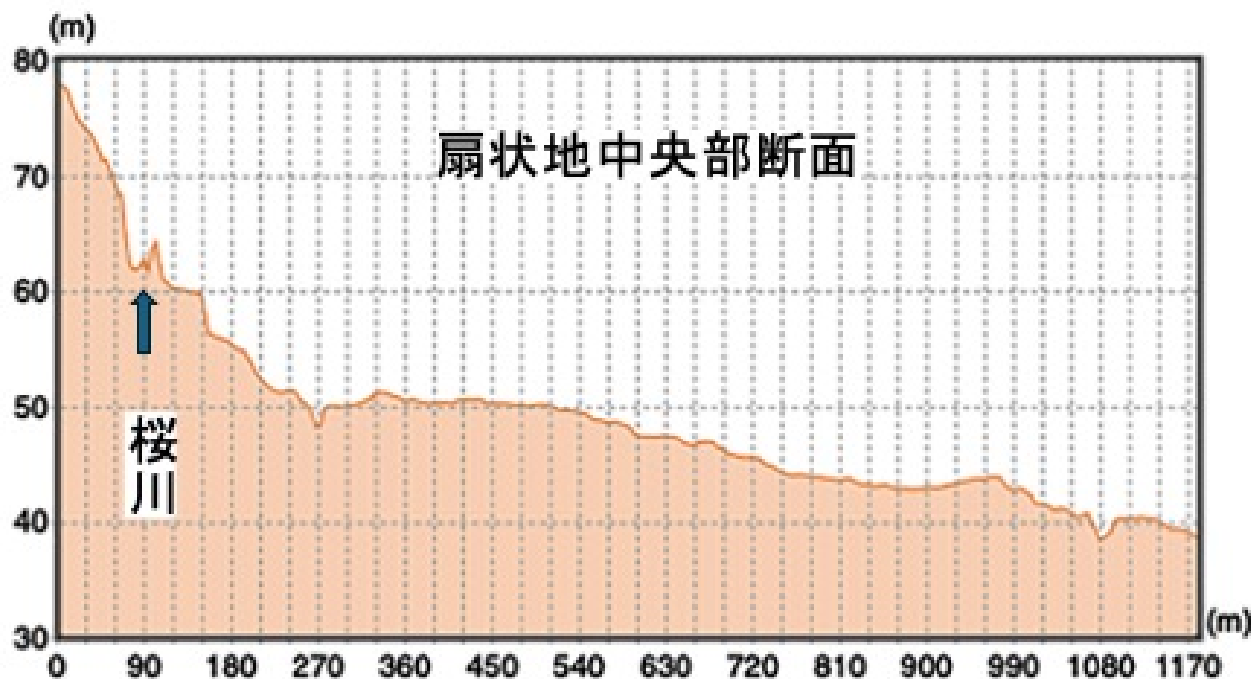


— 東西方向
 — 最大傾斜方向 (流向)





桜川は扇状地北縁の最大傾斜を流下する。扇状地中央部は傾斜が緩く、流路を作りにくい。



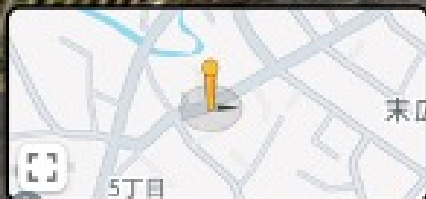
Google マップを検索する



あ

桜川扇状地中央部

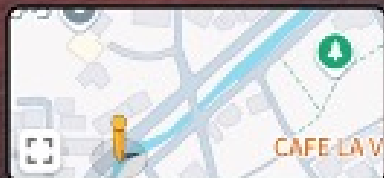
東北東



Google

北東

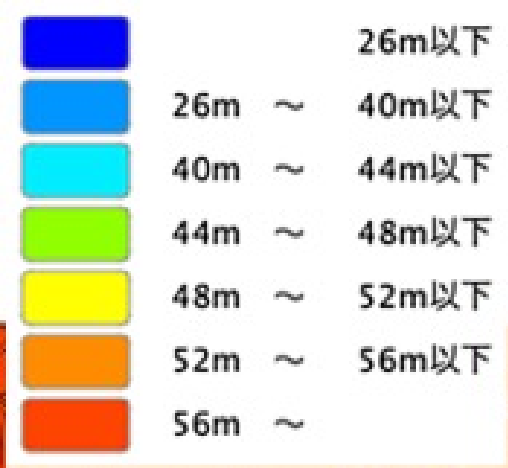
桜川



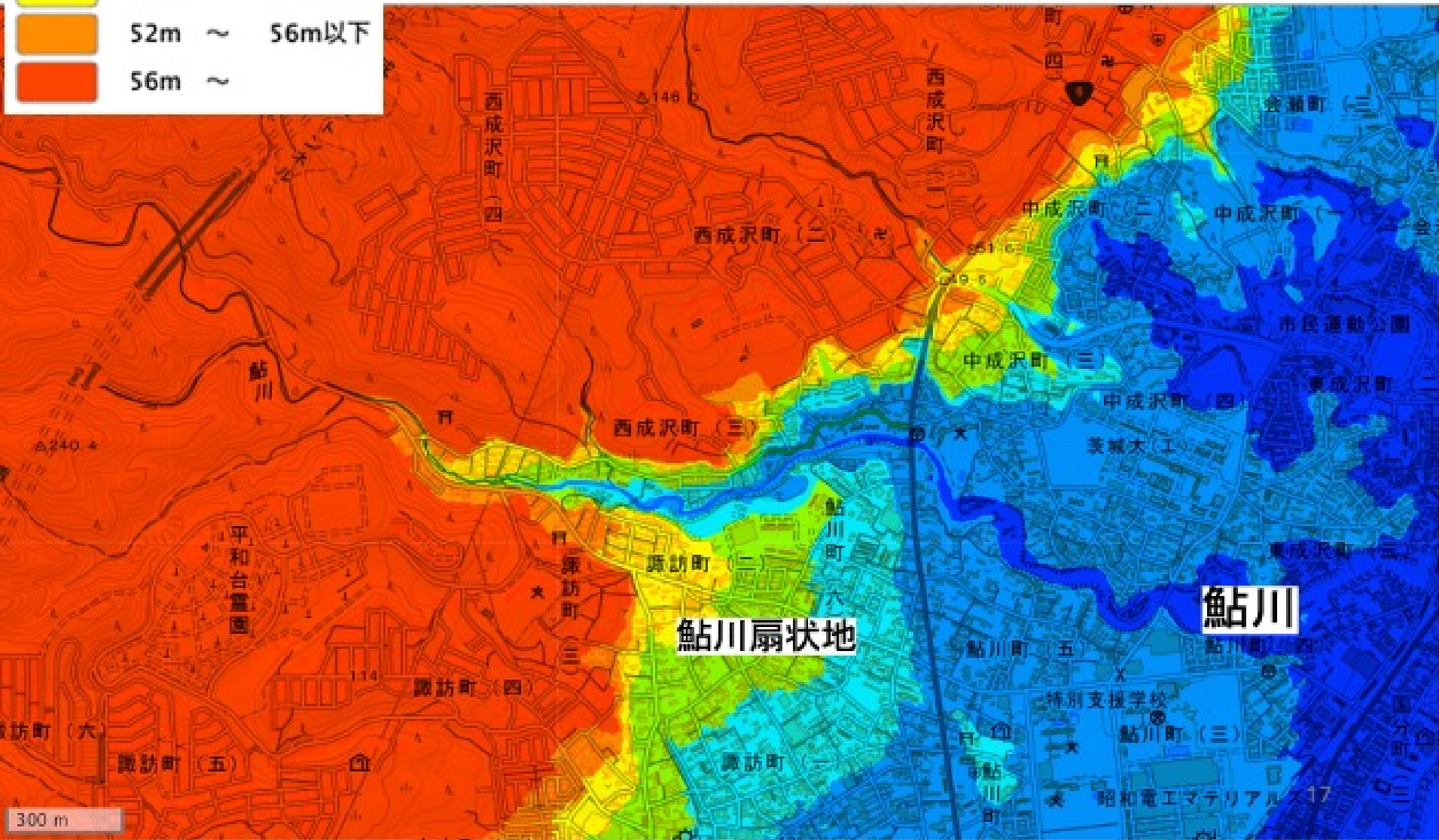
Google

撮影日: 2024年7月

桜川扇状地北端の方が下り傾斜が大きい。

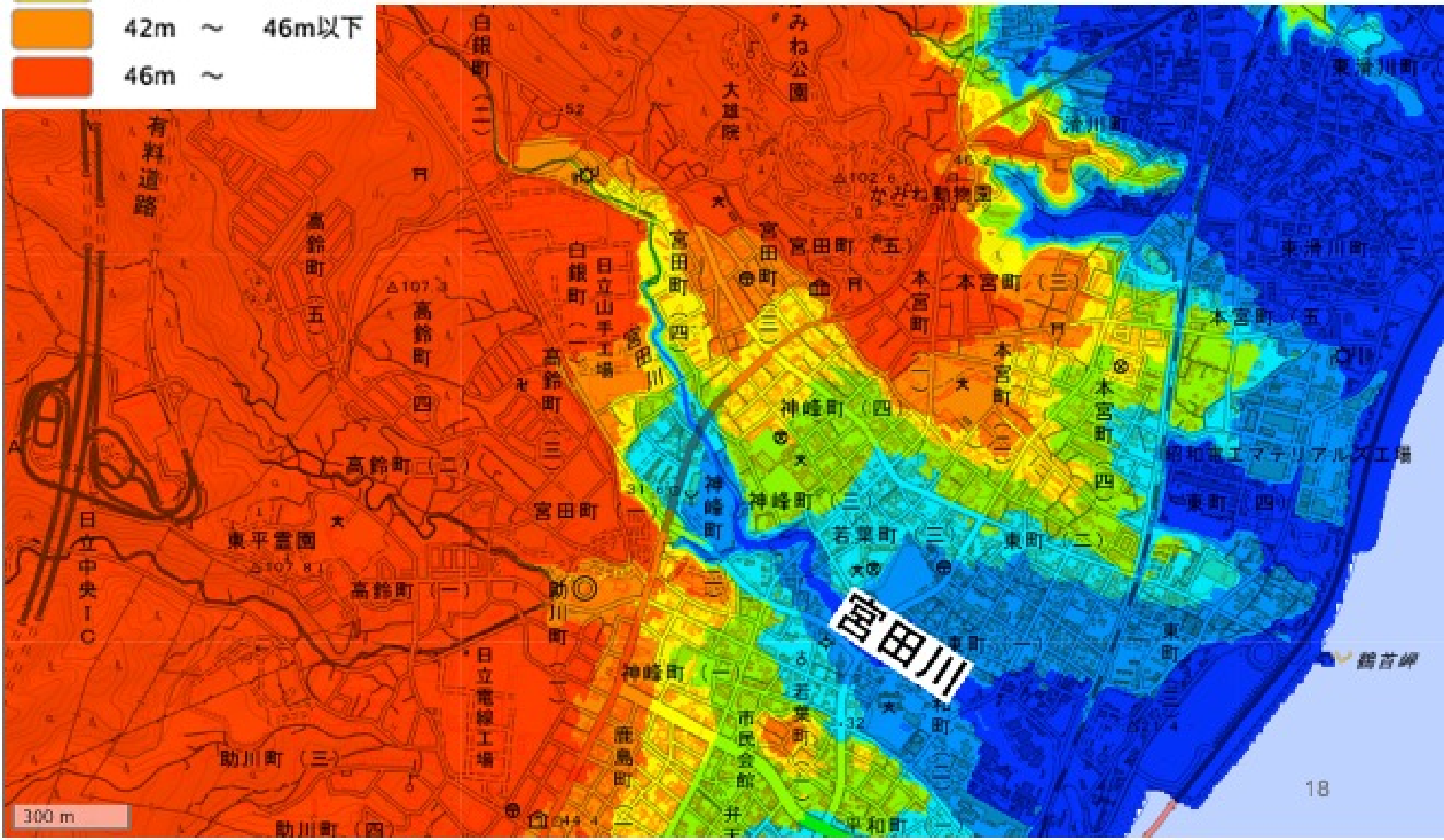
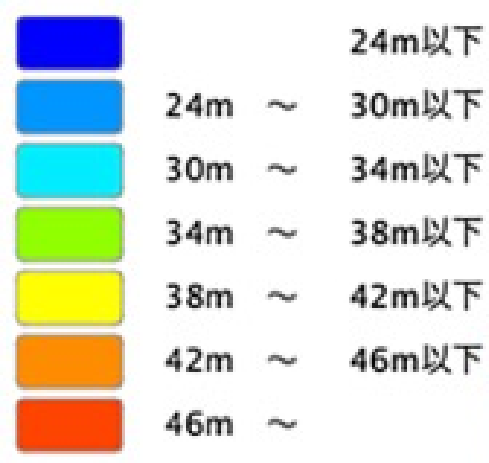


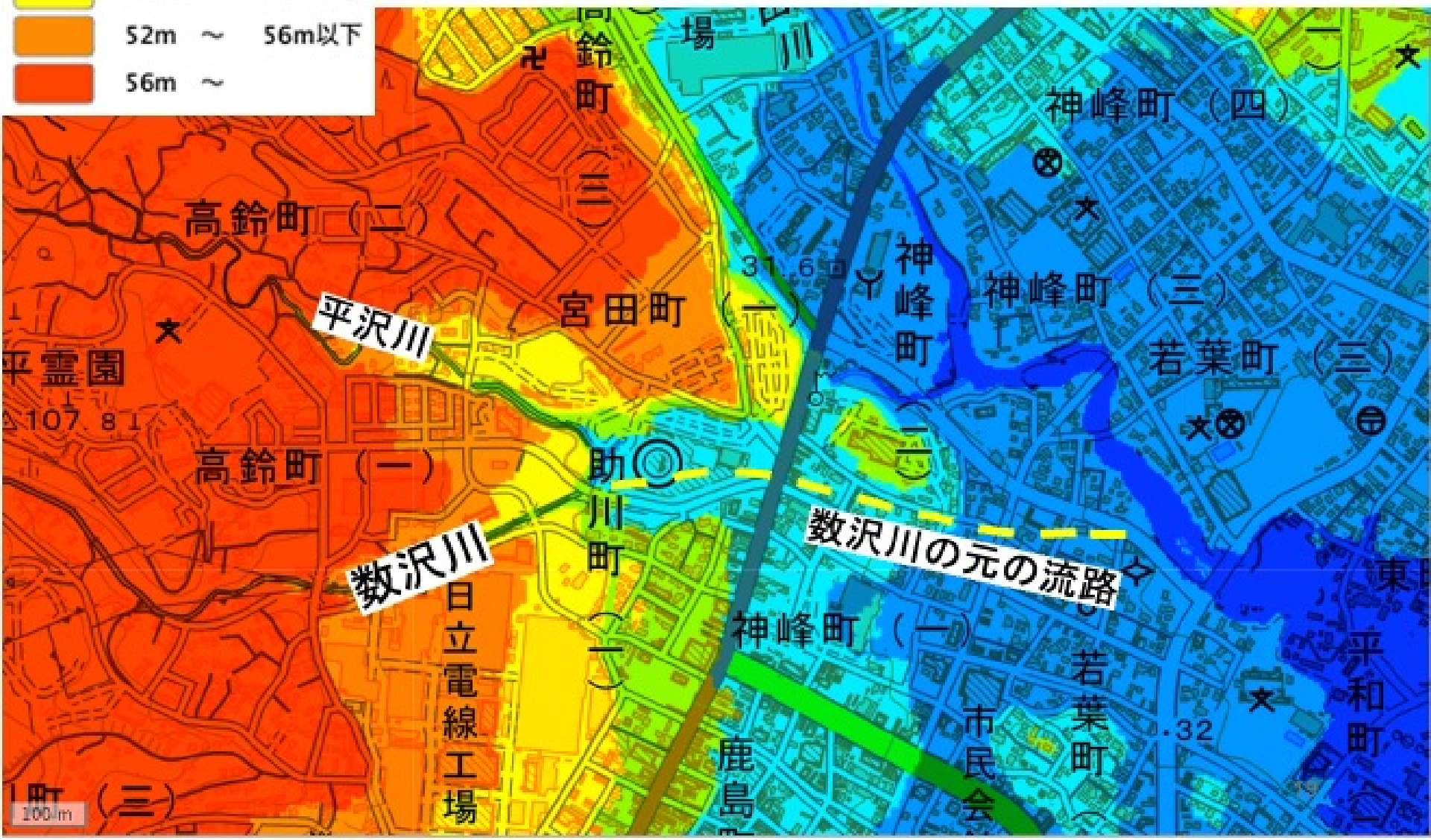
鮎川扇状地の北端を東北東に流れ、その後南東に流下している。扇状地の中央部の高まりを避けた。



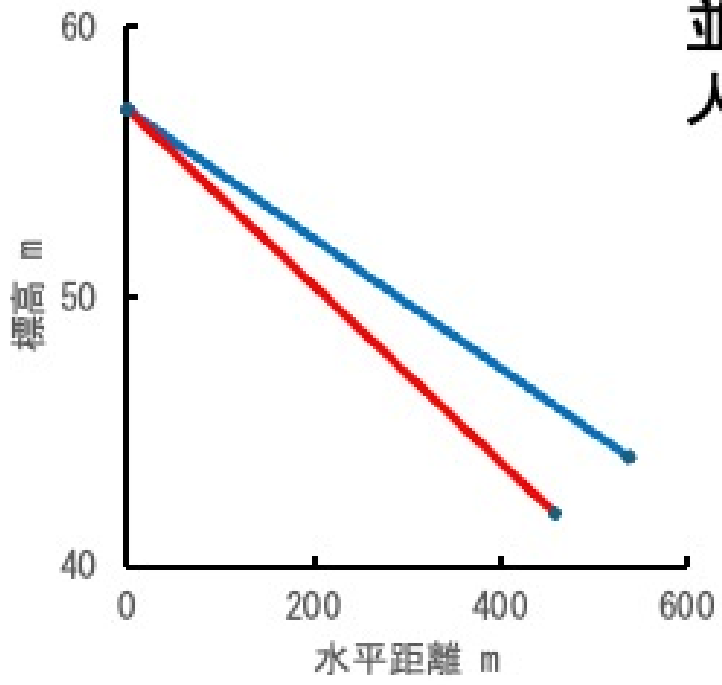
多賀山地のリニアメントの一つの方向である、北西—南東方向の峰と谷に沿って流れる。

宮田川の屈曲は掘削蛇行であろう。



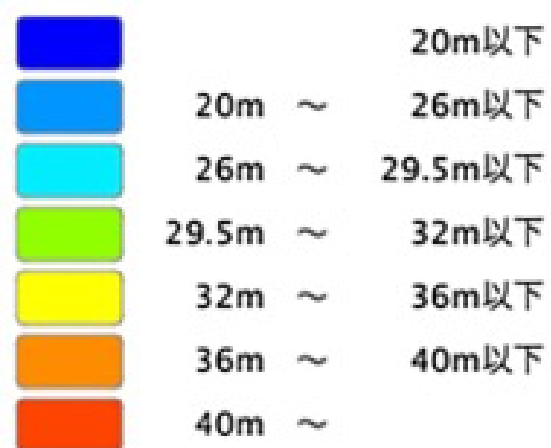


— 東西方向
— 最大傾斜方向（流向）

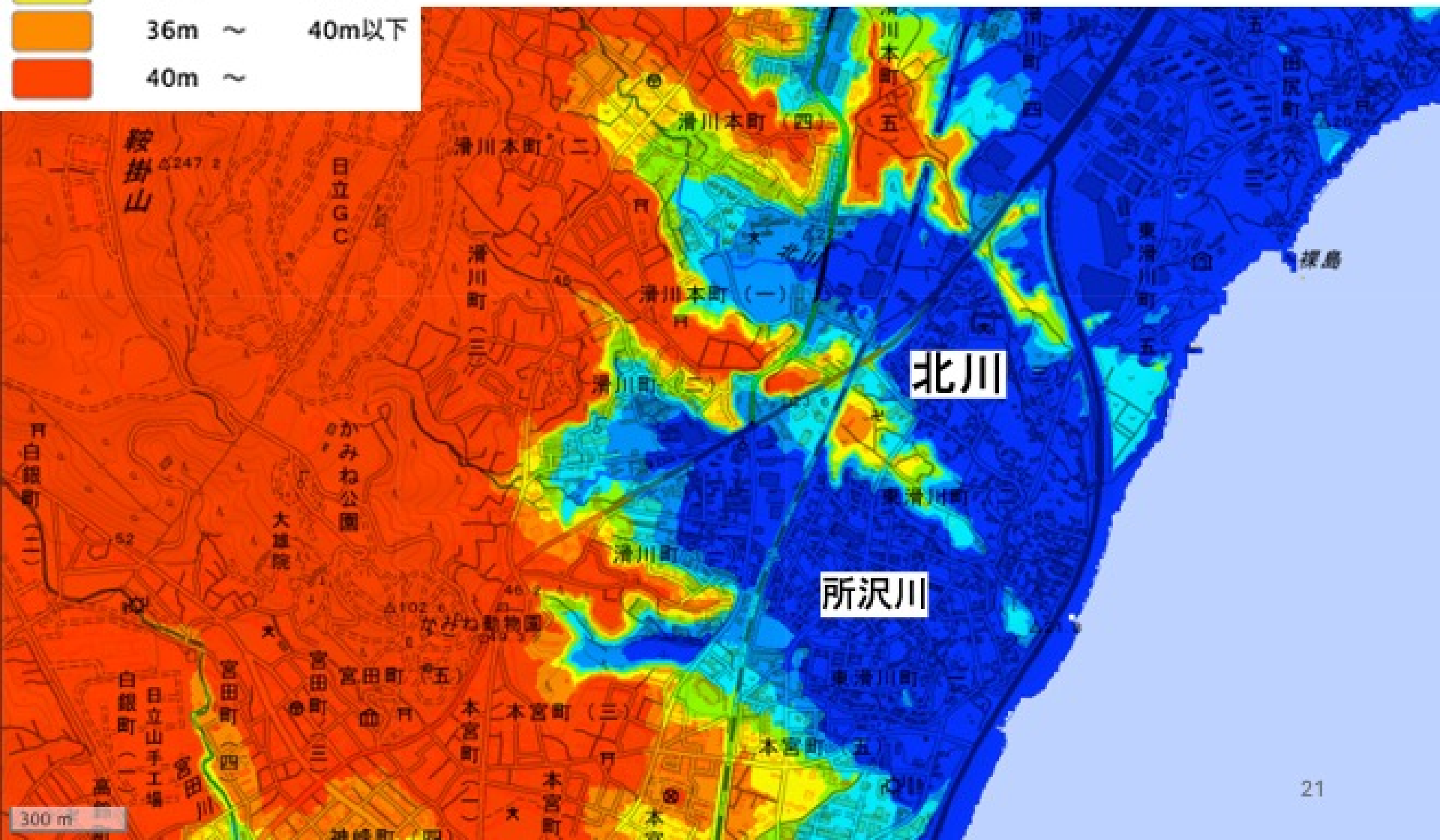


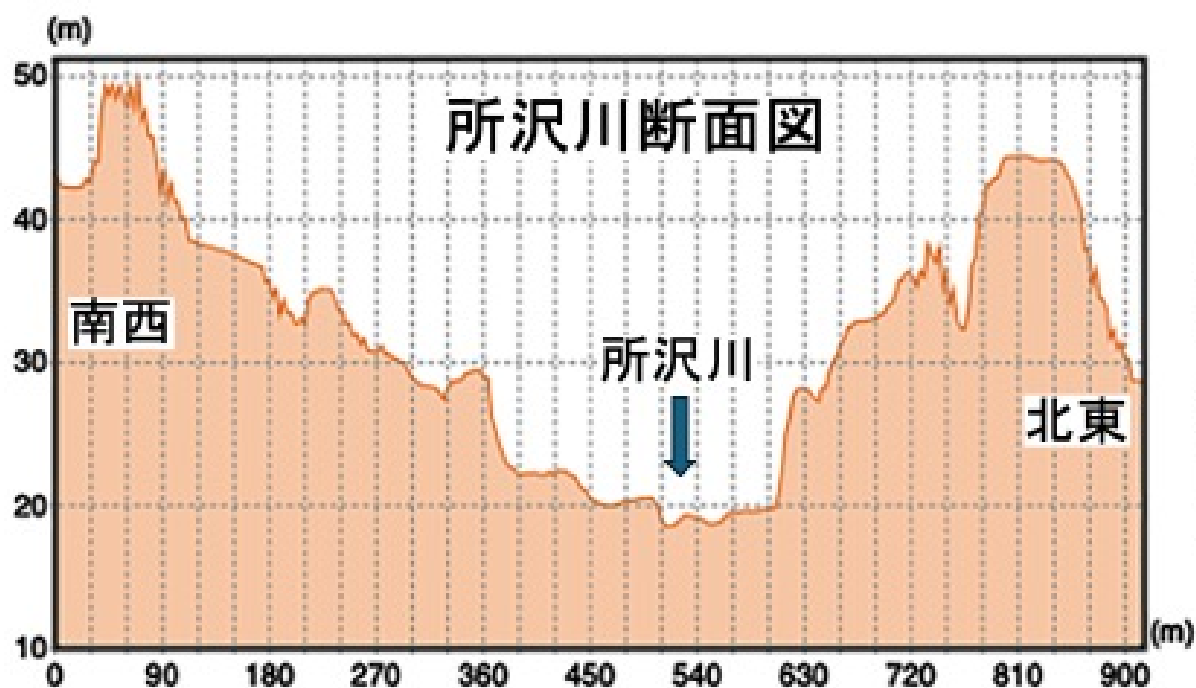
数沢川の元の流路は、市役所前のアンズ並木の方に流れており、現在の流れは人為的に変えられたものである。

数沢川は台地に流出すると最大傾斜方向に流れ、すぐに岬状高まりに流路を遮られ、南東方向に向きを変えた。

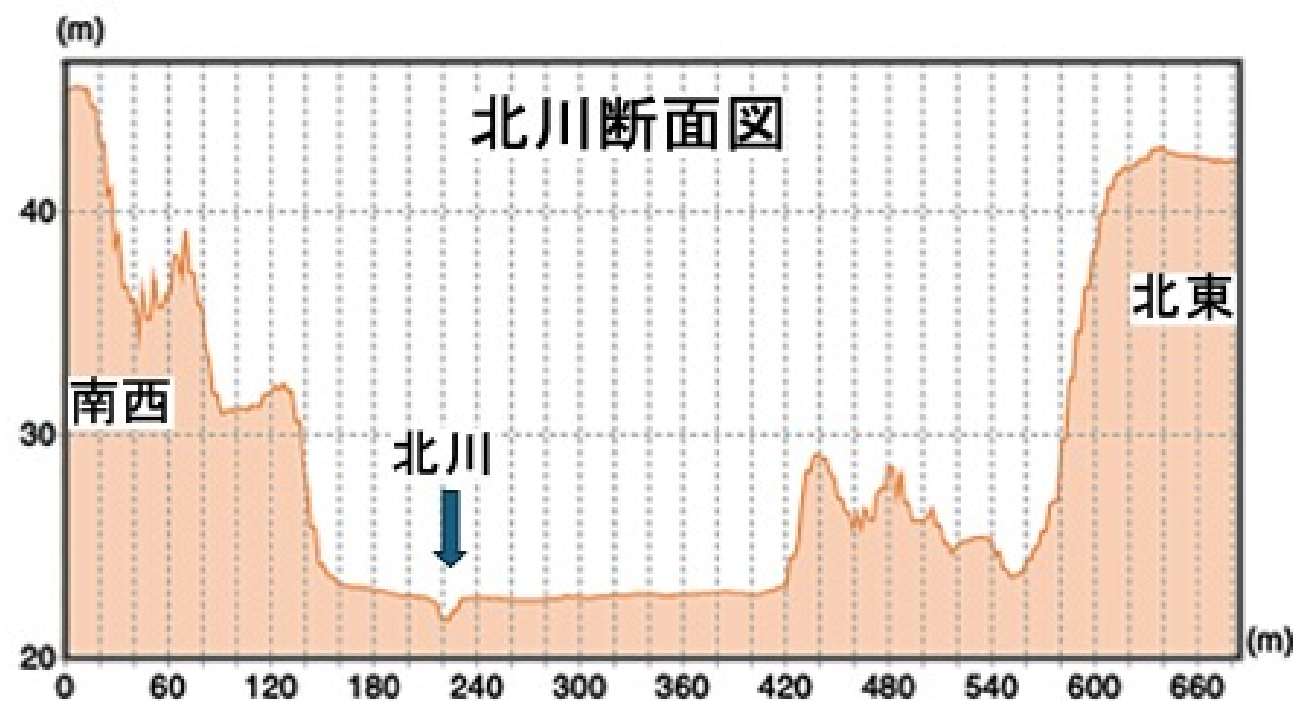


リニアメントによる北西—南東方向の岬状地形に規制されて、北傾斜面を流下している。





台地は北向き斜面が広く、川は北方に流路を取る。川が対抗斜面を削剥するため、南向き斜面が急傾斜で狭くなる。





北

国道6号

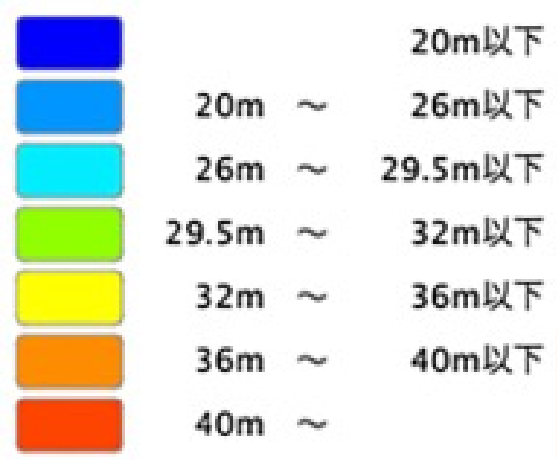
Google

撮影日: 2024年7月 © 2024 Google

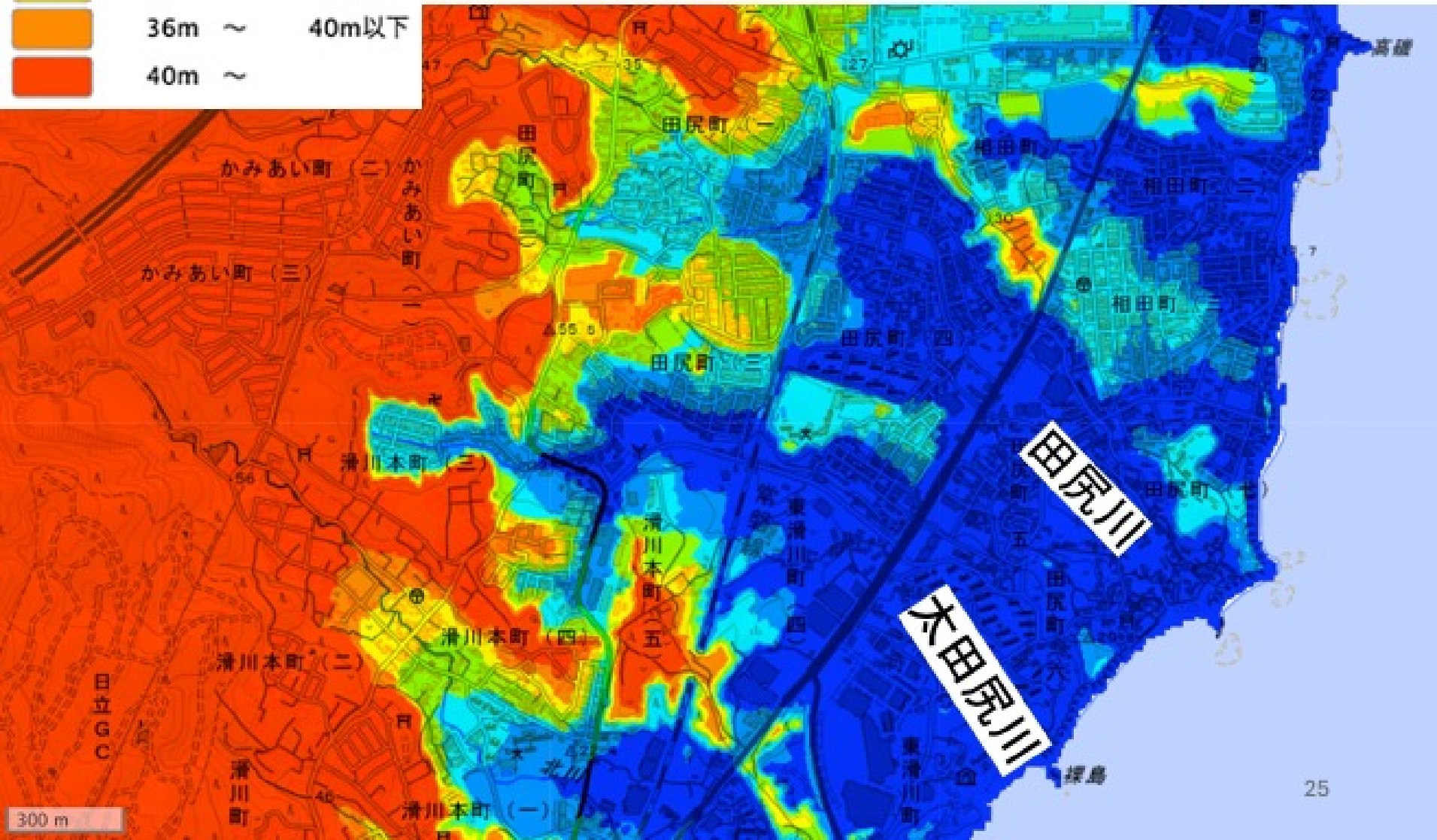
所沢川への下り6号国道

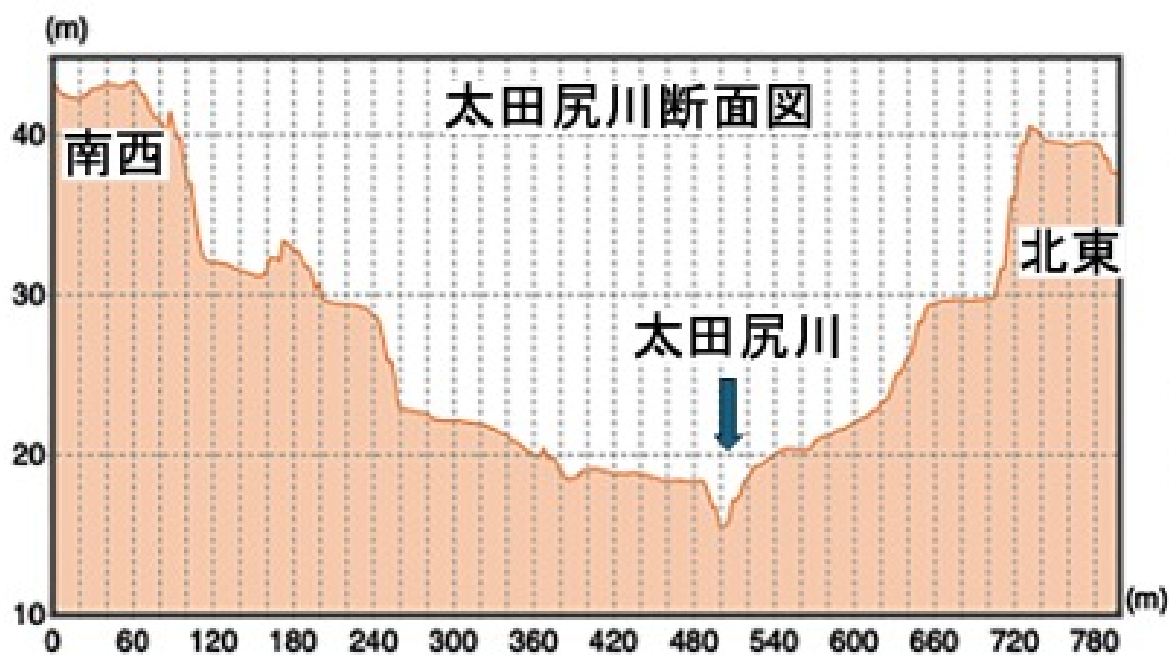


北川への下り6号国道

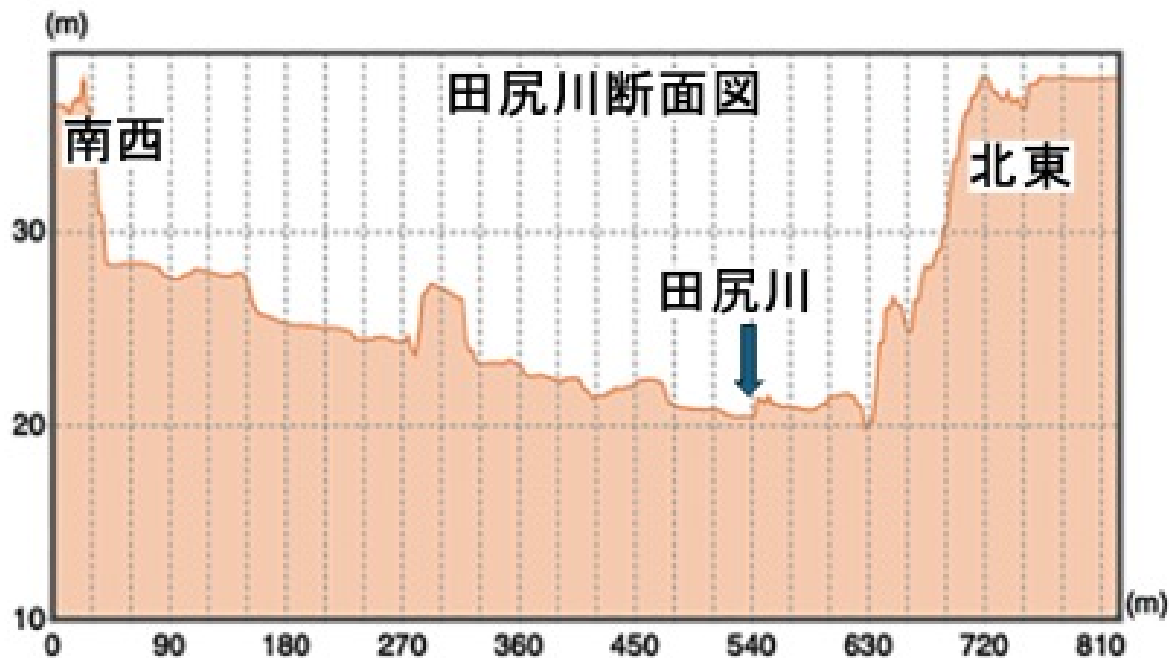


北西—南東方向の岬状の高まりが台地上に形成されている。





太田尻川と田尻川は、北向き斜面の低い所を東西に流れ、北西—南東に隆起する岬状地形に遮られて南東に流向を変えている。



Google マップを検索する



あ ▾



(株)イハジユウ
日立営業所



太田尻川への下り6号国道

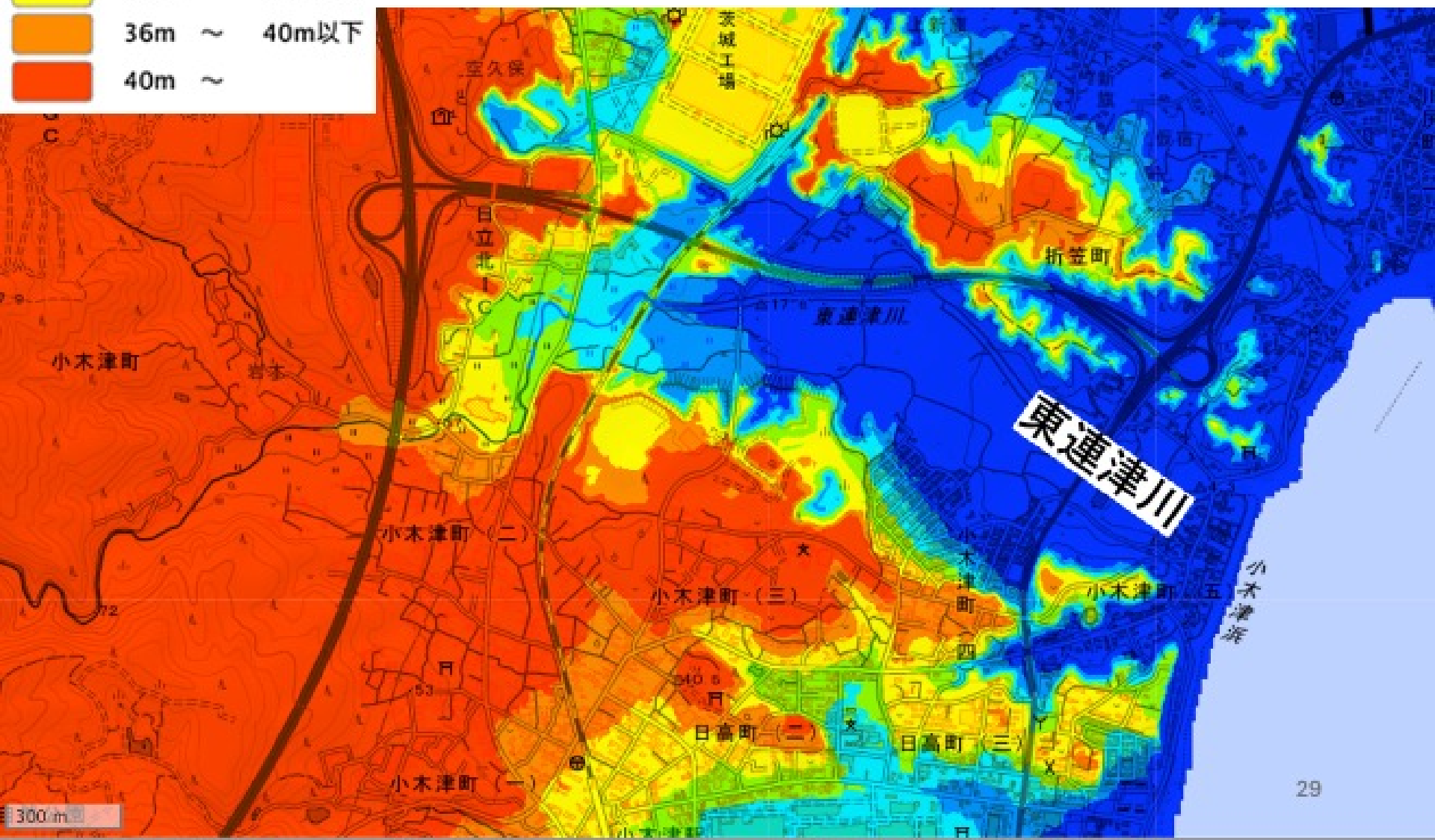
Google

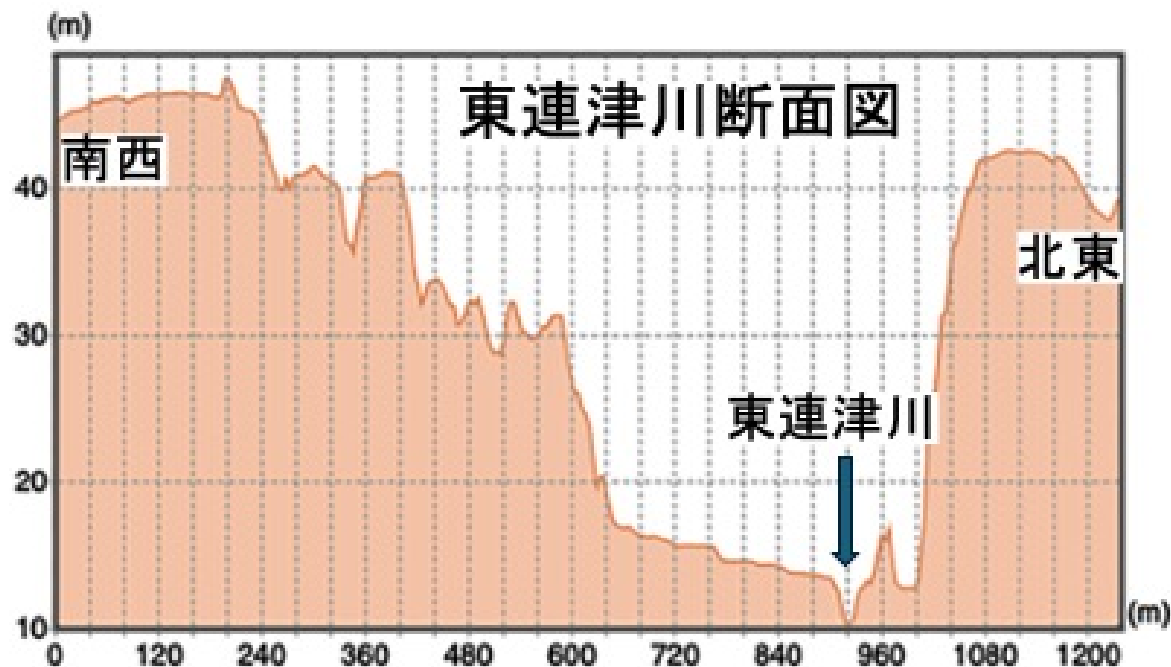


田尻川への下り6号国道 Google



東連津川は、山地斜面から流出して東西に流れ、北西一南東の岬状高まりに遮られて、南東方向に流れを変えている。





東連津川は、山地斜面から流出して東西に流れ、北西—南東の岬状高まりの北向き斜面を北に流れ、北にあるに北西—南東の岬状高まり遮られて、南東方向に流れを変えている。そのため、北に湾曲した流路が形成された。

東連津川北向き斜面



東連津川

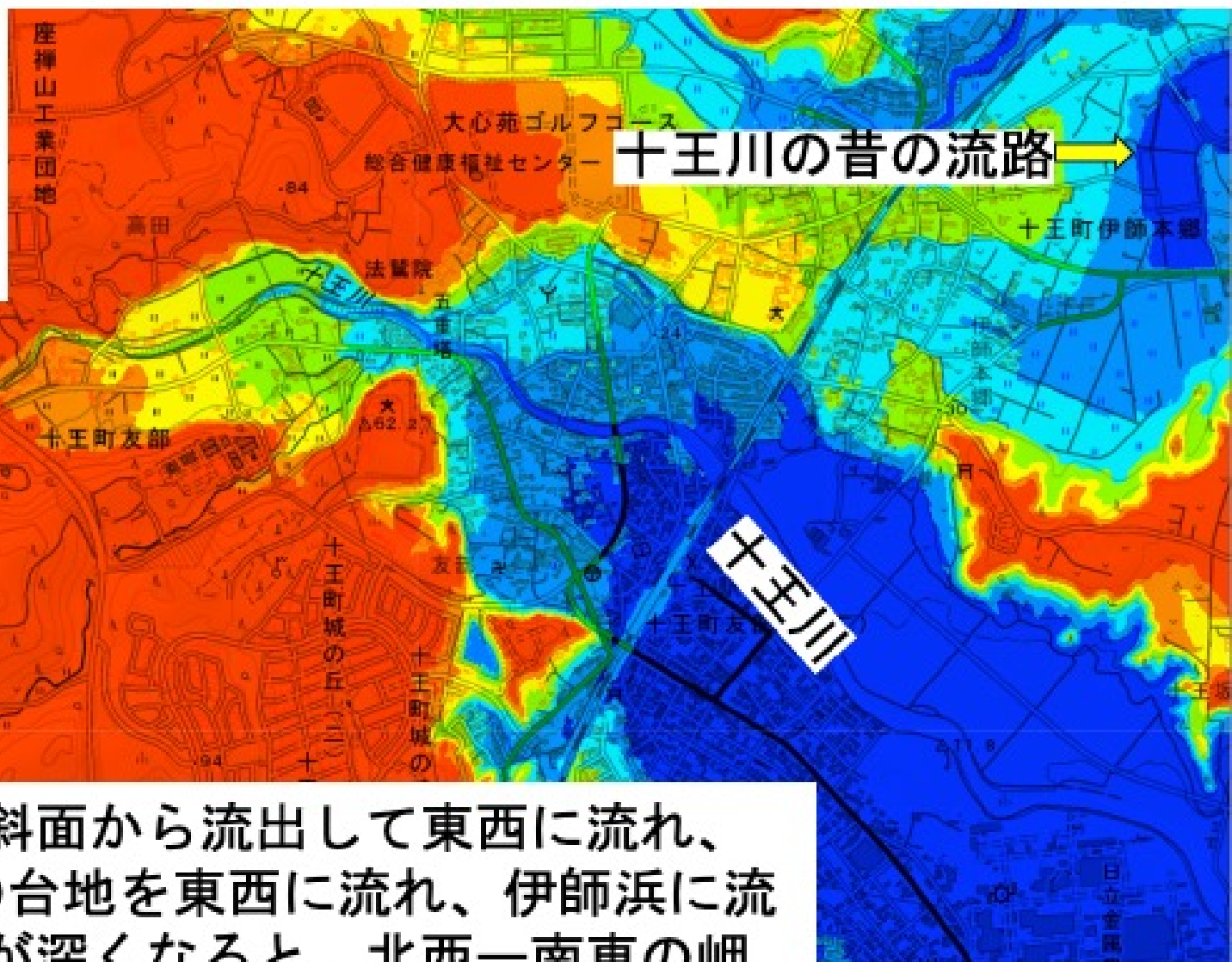


北

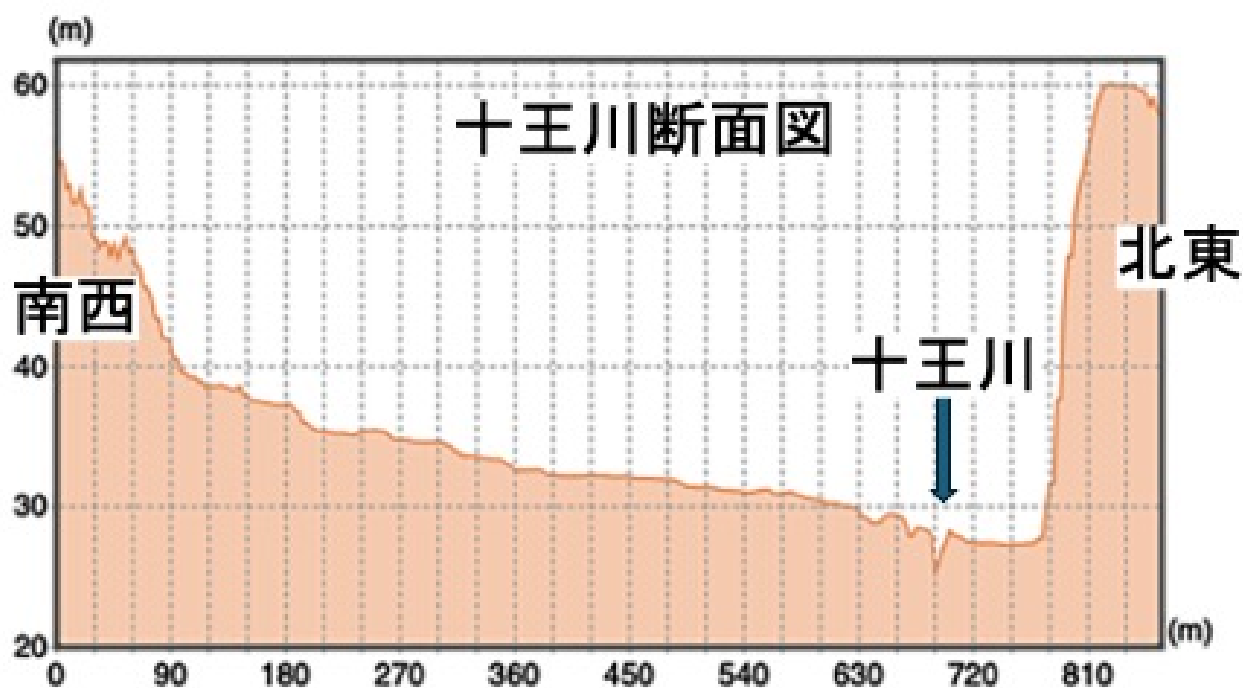
折笠

小木津

Google



十王川は、山地斜面から流出して東西に流れ、最初は標高28mの台地を東西に流れ、伊師浜に流れていた。川底が深くなると、北西—南東の岬状高まりに遮られて、南東方向に流れを変えた。そのため、北に湾曲した流路が形成された。

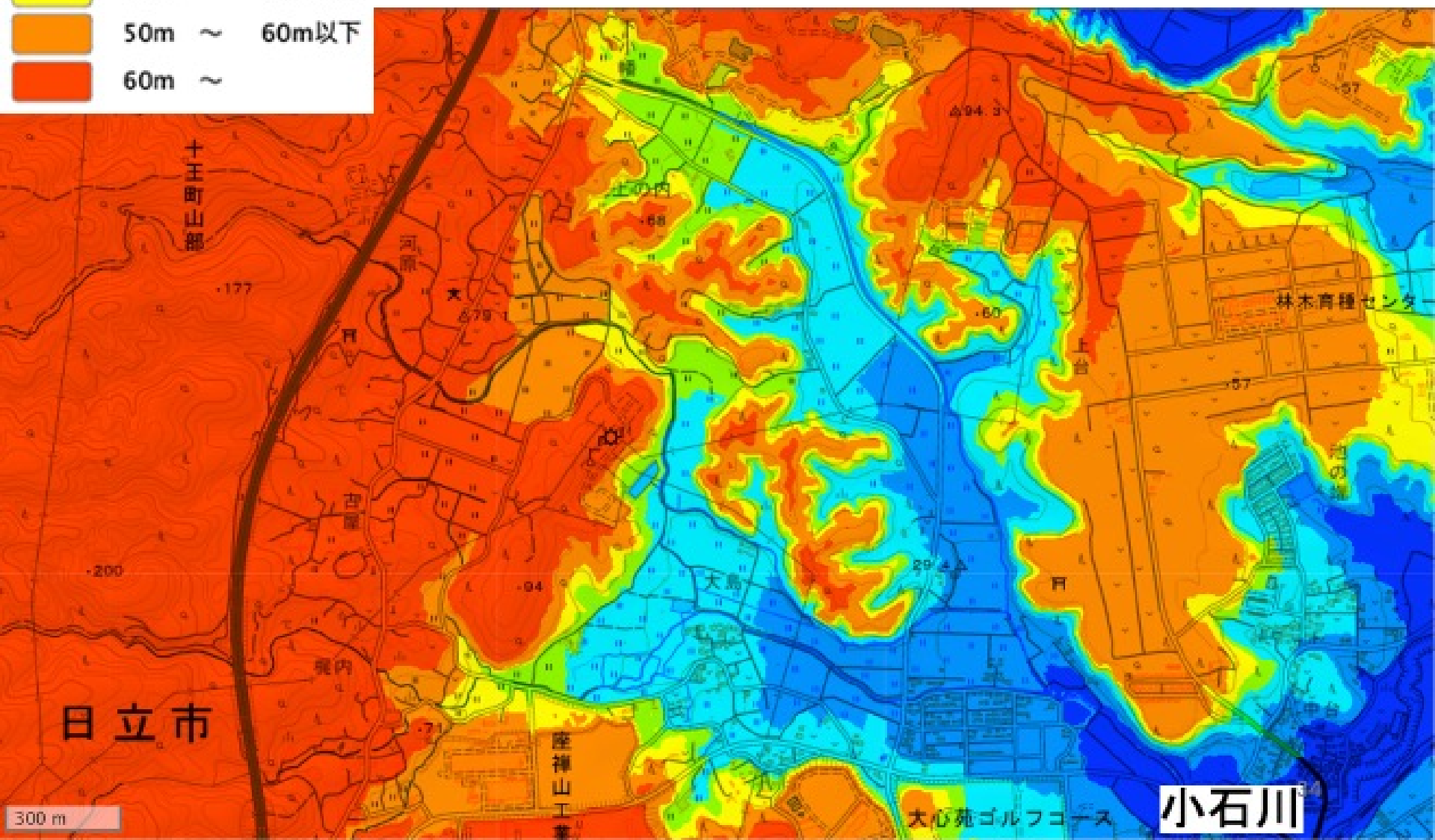


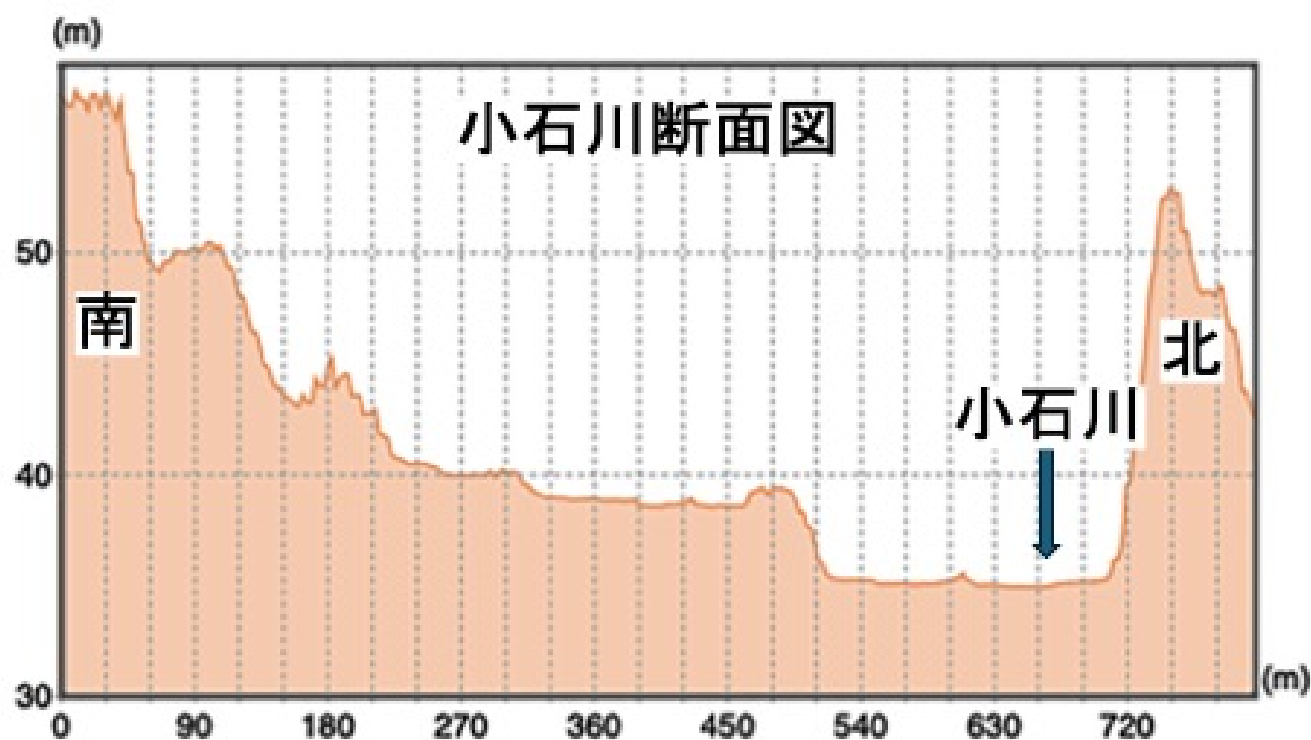
十王川は、山地斜面から流出して北向き斜面を東北東に流れ、最初は標高28mの台地上を東西に流れ、伊師浜に流れていた。川底が深くなると、北西－南東の岬状高まりに遮られて、南東方向に流れを変えた。そのため、北に湾曲した流路が形成された。



小石川の流域では、北西-南東方向の岬状高まりが不明瞭である。

小石川の流路は北に湾曲する。





小石川は山地から流出すると北傾斜の斜面上を流れるため、北へ湾曲する。その後、北側の高まりに遮られて、南東方向へ流路をとる。その結果、北へ湾曲した流路となった。

小石川への下り

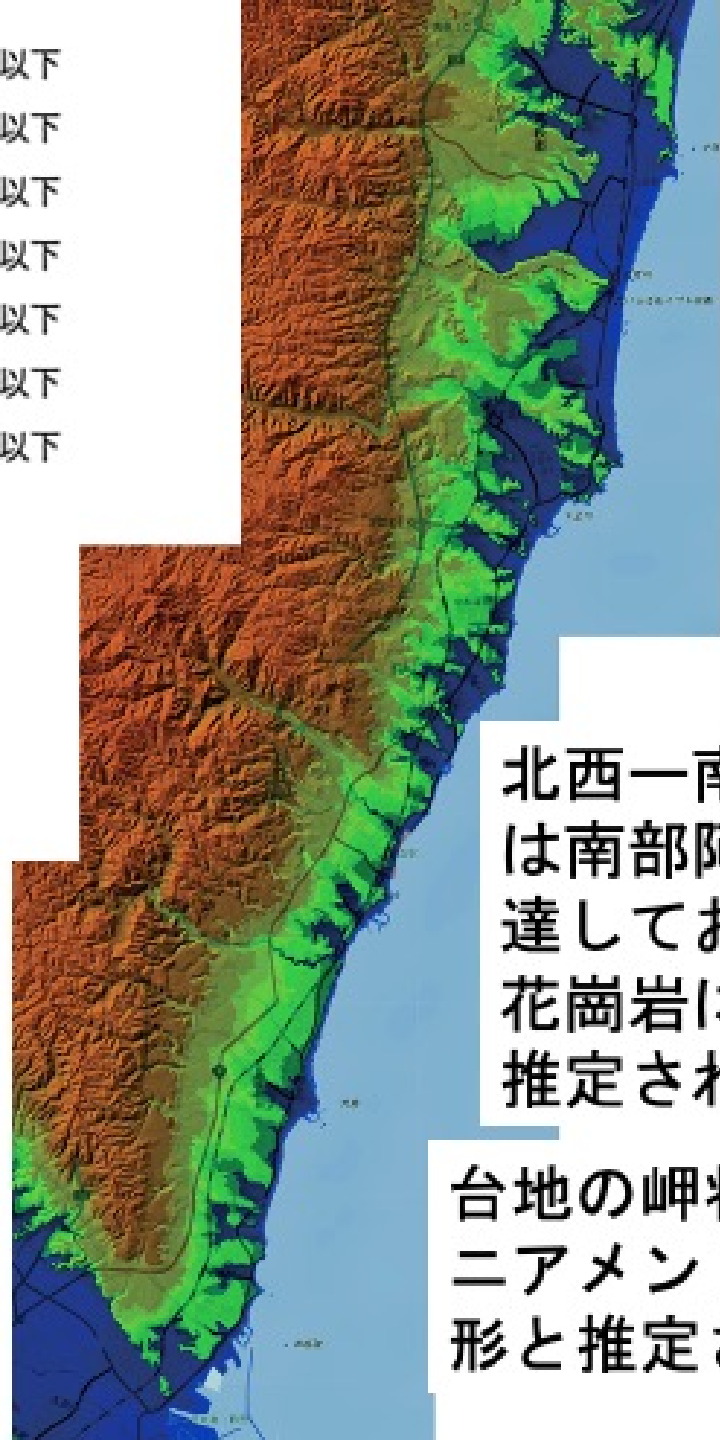
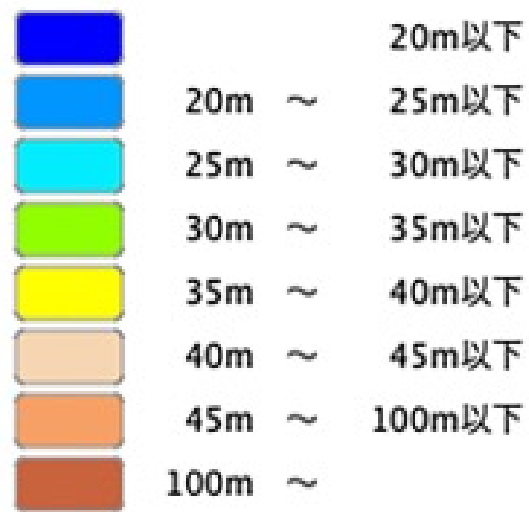
北

大島



至る坐禅山工業団地





中位段丘上に北西—南東方向の岬状地形が発達している。

この方向は、多賀山地の同方向のリニアメントと一致する。

北西—南東方向のリニアメントは南部阿武隈山地に普遍的に発達しており、基盤となっている花崗岩に生じたリニアメントと推定される。

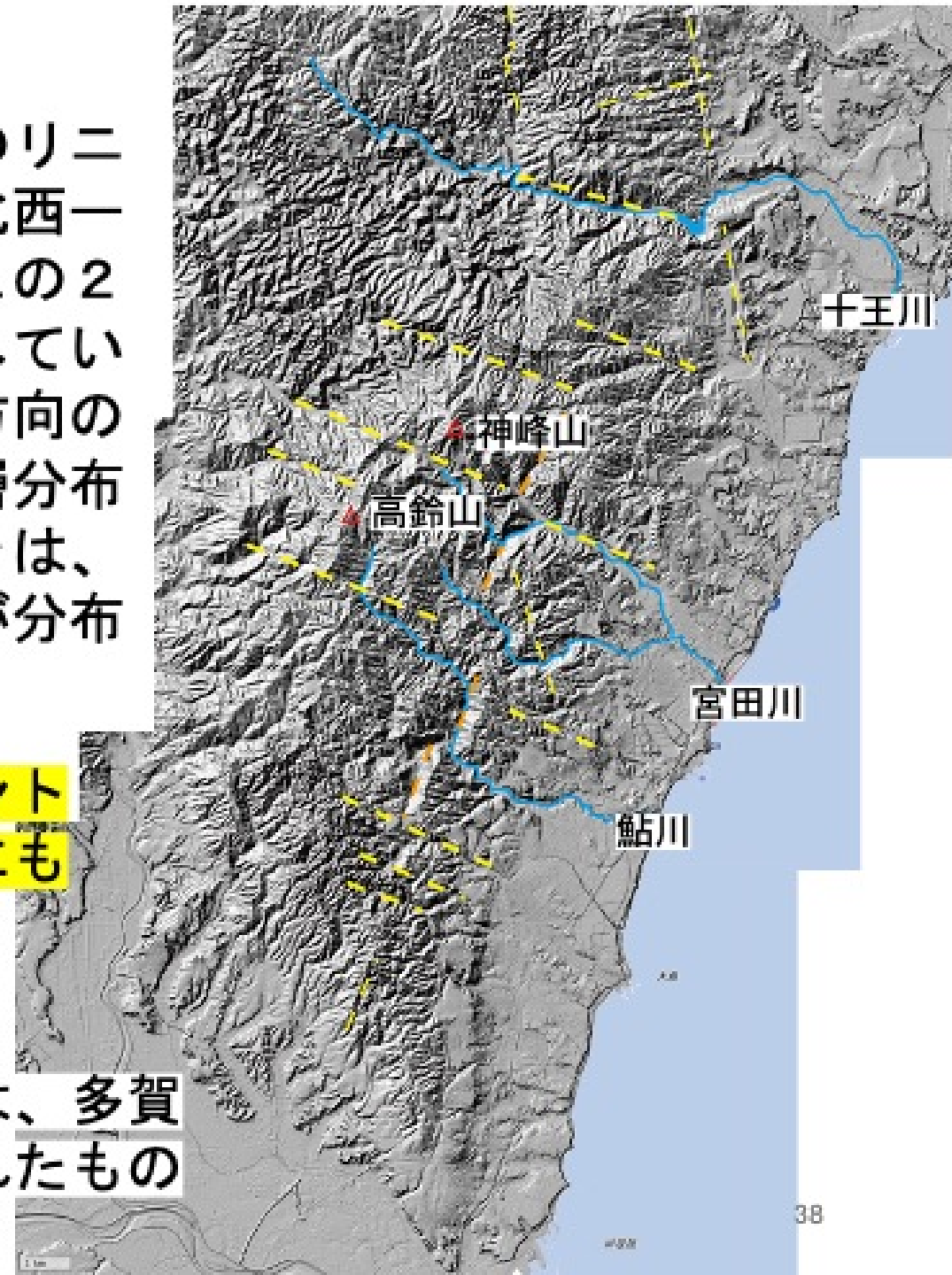
台地の岬状地形は、多賀山地のリニアメントに規制されて生じた地形と推定される。

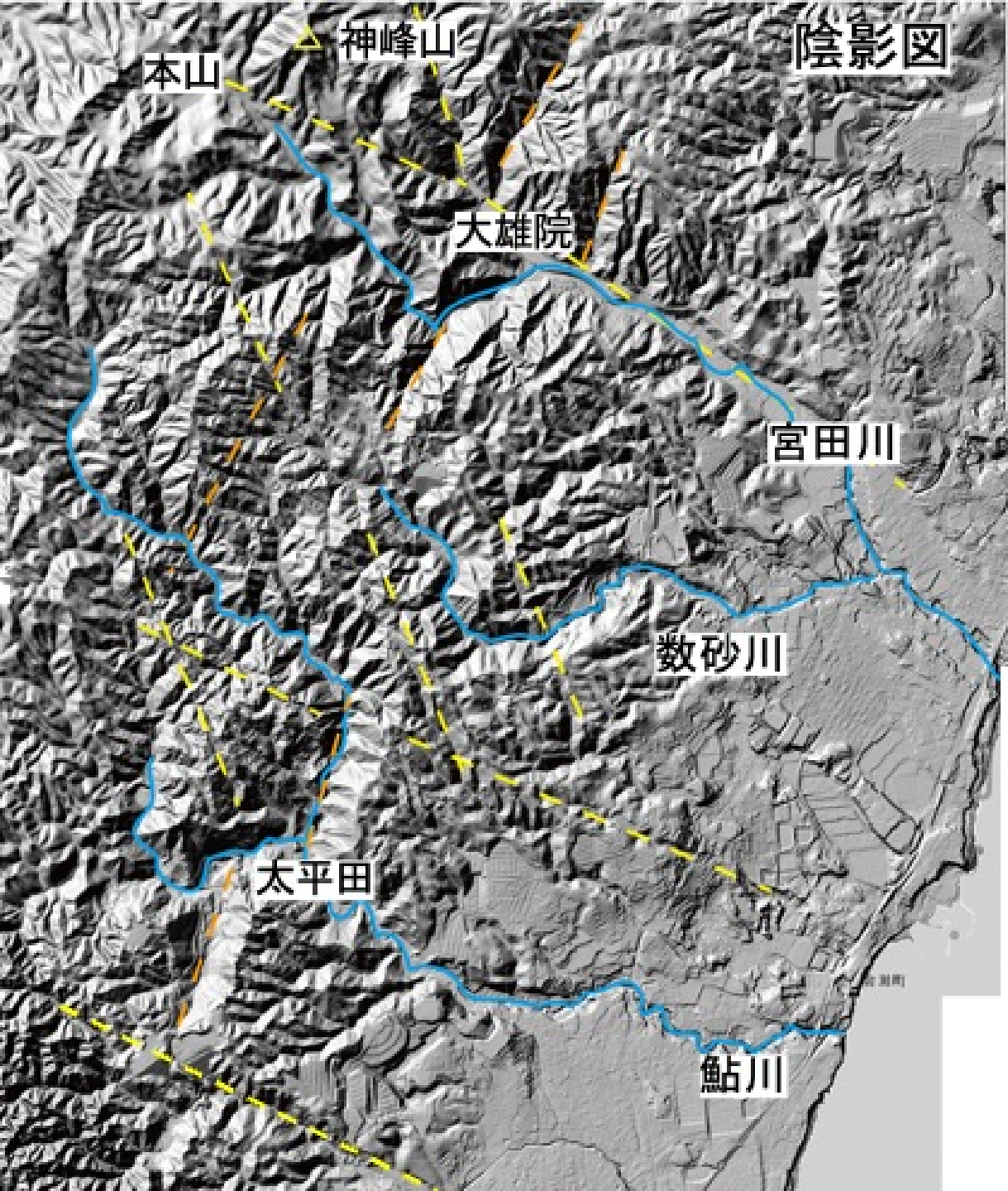
多賀山地のリニアメント

日立市北方の花崗岩分布域のリニアメントには、南北方向と北西—南東方向の2方向がある。この2方向は多賀山地全体に共通している。そのうちの北西—南東方向のリニアメントは、日立古生層分布域まで伸びている。このことは、日立古生層の地下に花崗岩が分布していることの証である。

北西—南東方向のリニアメントは、台地の岬状起伏の方向にも反映されている。

この2方向のリニアメントは、多賀山地が隆起した時に形成されたものと推定される。





日立古生層の配列方向
(北北東-南南西)の
リニアメントがある。

日立古生層の配列方向
とは異なる2方向のリ
ニアメントがある。こ
のリニアメントは花崗
岩地帯のリニアメント
と同じ方向である。

つまり、日立古生層の
地下深くには北から続
く花崗岩が分布してお
り、そのリニアメント
が地表に現れているこ
を示している。